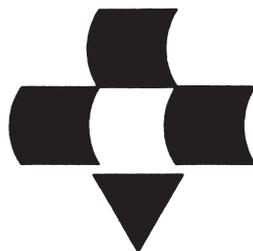


平成24年度

神戸市立博物館年報

No.29



☆目 次☆

事業概要（平成24年度）	2
1. 特別展示	
(1) 第114回特別展 開館30年記念特別展 南蛮美術の光と影	3
(2) 第115回特別展 開館30年記念特別展 国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る	7
(3) 第116回特別展 開館30年記念特別展 マウリッツハイス美術館展	11
(4) 第117回特別展 日中国交正常化40周年特別展 中国 王朝の至宝	15
2. 企画展	
(1) 南蛮美術企画展 Meeting with the West! - 西洋と出会った江戸美術 -	18
(2) 古地図企画展 海と陸の「みち」-江戸時代を旅する-	19
(3) ギャラリー	20
3. 学習室・図書室	
(1) 学習室	27
(2) 図書室	28
4. 普及事業	
(1) 博物館独自の事業	29
(2) 共催事業・協力事業	32
(3) 学習支援交流員活動	33
5. 特別展・企画展等の開催一覧	35
6. 刊行物	36
収蔵資料	
1. 新収蔵資料	
(1) 受贈資料	41
(2) 購入資料	41
2. 指定文化財一覧	42
3. 資料補修	42
4. 資料の特別利用	
(1) 館外貸出	43
(2) 特別利用	45
入館者数	
1. 経年	46
2. 年齢・階層別	47
3. 特別展	48
予算	49
博物館協議会	49
組織・職員	50

事業概要

平成24年度の事業報告として、神戸市立博物館年報第29号を発行いたします。神戸市立博物館は、「国際文化交流－東西文化の接触と変容－」を基本テーマとして、神戸市立南蛮美術館と考古館を統合して、人文系の博物館として昭和57年（1982）11月に開館しました。博物館の建物は、建築家・桜井小太郎が設計し、昭和10年（1935）に旧外国人居留地に建てられた、旧横浜正金銀行神戸支店を増改築したものです（平成10年度登録文化財・平成19年度近代化産業遺産に認定）。

平成7年（1995）1月17日の阪神・淡路大震災では、建物などに被害を受けて一年間の休館を余儀なくされましたが、平成8年度以降は従前どおりの活動を行ってきました。

平成24年度は、特別展は、開館30年を記念した「南蛮美術の光と影」「国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る」「マウリッツハイス美術館展」のほか、「中国 王朝の至宝」を開催しました。

また、開館30年を記念して「マウリッツハイス美術館展」開催中の9月30日（日）に記念シンポジウムを行いました。

常設展示は、各展示室のほかに「みてコレ」コーナーを設置（平成21年4月～）。それぞれ展示替えを行いながら資料を紹介しています。また、当館の館蔵品を中心とする企画展として、南蛮美術企画展「Meeting with the West!－西洋と出会った江戸美術－」と古地図企画展「海と陸の「みち」－江戸時代を旅する－」を開催いたしました。

普及事業では、一般向け事業として「ミュージアム講座」・講座「博物館をたのしむ」を、子ども向け事業として「ジュニアミュージアム講座」「夏休み土器づくり教室」「博物館たんけん隊」「こうべ歴史たんけん隊」を、昨年度と同様に開催しました。そして、「特別鑑賞会」・こどものためのワークショップ・ギャラリートークなども積極的に行いました。

また、「国際博物館の日」（5月18日）と「KOBE観光ウィーク」（10月3日）にちなんで記念品プレゼント（各日先着50名）を実施しました。その他、各種共催事業も行なっています。

刊行物としては、特別展図録・館蔵品目録・研究紀要・年報・博物館だより等を発行しています。

平成24年度の開館日数は296日で、うち特別展は226日でした。入館者総数は559,145人。入館者の内訳は、常設展6,654人、特別展551,258人、普及事業参加者1,233人です。

また、学校団体の来館は220校でした。トライやるウィークも13校28人が研鑽に励みました。学校授業への職員派遣は111校、教員のための博物館活用研修会も8回開催し、延べ392人が参加しました。博物館実習は17校、計26人を2班に分けて各5日間行いました。なお、今年度から博物館のホームページに要項を掲載し実習生を募集しています。一方、館外貸出は96件152点、特別利用は748件2,633点でした。

この年報により、平成24年度の当館の事業の概要をご理解いただければ、幸いに存じます。

平成24年度の沿革（23年度以前はHP上のPDF版「平成23年度年報 No.28」に掲載）

- | | | | |
|-----|-------|---|--------------------------|
| 24. | 4～ | 6 | 第114回特別展「南蛮美術の光と影」開催 |
| | 7～ | 9 | 第115回特別展「国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る」開催 |
| | 9～25. | 1 | 第116回特別展「マウリッツハイス美術館展」開催 |
| 25. | 2～ | 4 | 第117回特別展「中国 王朝の至宝」開催 |

1. 特別展示

(1) 第114回特別展

開館30年記念特別展

南蛮美術の光と影—泰西王侯騎馬図屏風の謎

・内 容／

スペイン・ポルトガルによる世界進出が16世紀の半ばの日本にも到達、これに触発されて、日本美術の革命的な新潮流「南蛮美術」が誕生した。1549年より日本で急速に普及していったキリスト教、特にその最大の修道会派・イエズス会の周辺では、多くの日本人画家が礼拝用の聖画を描く一方で、西洋画の写実的な表現で、日本の伝統的な屏風に描き込む作品も手がけた。日欧の交流は狩野派など伝統的な絵師たちにも大きなインパクトを与え、南蛮人（南洋からやってきた西洋人）の新奇なファッションや舶来品をモチーフとする斬新な絵画・工芸品が多く制作された。しかし、17世紀前半に日本は鎖国に転じ、100年も経たぬうちに南蛮美術はその命脈を断たれる。多くの作品が過酷な禁教により破壊されたが、代表的な超大作「泰西王侯騎馬図屏風」をはじめ、辛うじて伝世したものも少なくない。南蛮美術の名品117件が国内外から集結したこの展覧会は、近世初期の壮麗な美意識と、激動の歴史を体感する貴重な機会となった。

・会 期／平成24年（2012）4月21日（土）～6月3日（日）

・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

・主 催／神戸市立博物館、日本経済新聞社、神戸新聞社、NHK神戸放送局

・後 援／ポルトガル大使館、スペイン大使館、イタリア大使館、Instituto Camões、テレビ大阪

・特別協力／東京文化財研究所、サントリー美術館

・協 賛／岩谷産業、みなと銀行文化振興財団

・入 館 料／（当日・一般）1,300円

・開館日数／39日間

・入館者数／27,396人（普及事業を含む）

・出品点数／117件

・関連事業／

(1) 記念講演会／会場 地階講堂

① 「泰西王侯騎馬図屏風の謎を推理する」

日 時：4月28日（土）14時～15時30分

講 師：岡 泰正（神戸市立博物館 展示企画部長・学芸員）

② 「イエズス会vs.徳川日本—初期洋風画の舞台裏を読み解く」

日 時：5月19日（土）14時～15時30分

講 師：塚原 晃（神戸市立博物館 学芸員）

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

(2) イブニング・レクチャー（学芸員による展覧会の見どころ解説）

会期中の毎週土曜日 17時～17時30分

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

参加費：無料

(3) こどもの日スペシャル

展覧会の見どころ解説を聞いた後、親子で展覧会を鑑賞。

日 時：5月5日（土・祝）①午前の部：10時30分～ ②午後の部：13時30分～

定 員：各回100組（保護者含む）

対 象：中学生以下のこどもとその保護者

参加費：無料（保護者は「南蛮美術の光と影」展の観覧券が必要）

(4) こどものためのワークショップ

「立体屏風をつくろう！」

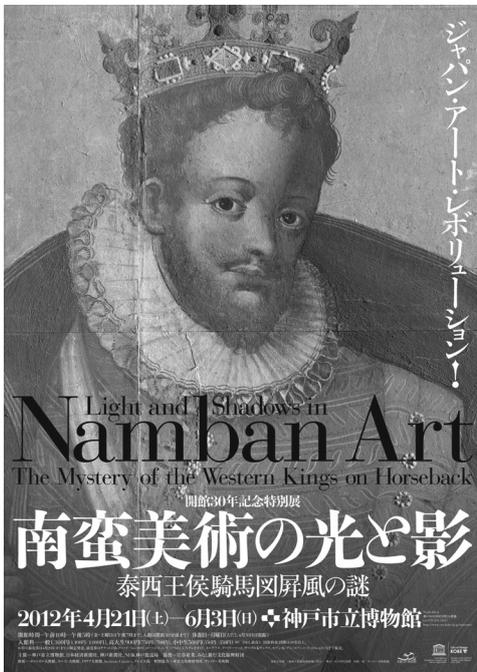
日 時：5月12日（土）14時～16時

会 場：神戸市立博物館 地階考古学習室

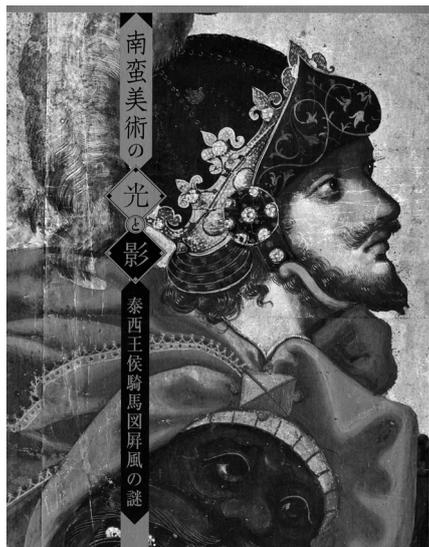
定 員：20人

対 象：小学4年生～中学生

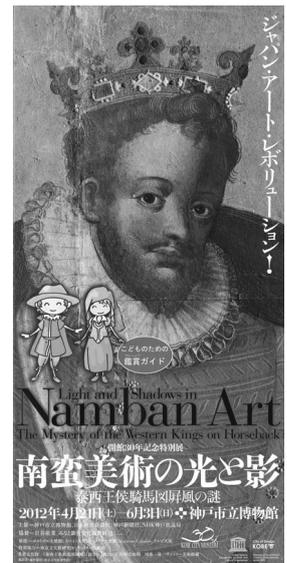
参加費：500円（保護者は「南蛮美術の光と影」展の観覧券が必要）



ポスター



図録



こどもガイド

※出品目録はHP（過去の特別展示）に掲載

ジャパン・アート・レボリューション！

Light and Shadows in
Namban Art
The Mystery of the Western Kings on Horseback

開館30年記念特別展

南蛮美術の光と影

泰西王侯騎馬図屏風の謎

2012年4月21日(土) - 6月3日(日) 神戸市立博物館

開館時間—午前10時—午後5時(金・土曜日は午後7時まで。入館は閉館30分前まで) 休館日—月曜日(ただし4月30日は開館)

主催—神戸市立博物館、日本経済新聞社、神戸新聞社、NHK神戸放送局 協賛—岩谷産業、みなと銀行文化振興財団

後援—ポルトガル大使館、スペイン大使館、イタリア大使館、Instituto Camões、テレビ大阪 特別協力—東京文化財研究所、サントリー美術館

重要文化財 (泰西王侯騎馬図屏風(部分) 桃山~江戸時代初期、四曲一双 サントリー美術館蔵 撮影者・城野誠治(東京文化財研究所))



チラシ表

スペイン・ポルトガルによる世界進出が本格化し、その波は16世紀半ばの日本にも到達します。これに触発されて、日本美術の新潮流「南蛮美術」が誕生しました。

1549年より日本で急速に普及していったキリスト教、特にその最大修道会派・イエズス会の周辺では、日本人の画家たちが礼拝用の聖画をてがける一方、西洋画の華麗で写実的な表現で屏風絵も描いていました。日欧の交流は狩野派など伝統的な絵師たちにも大きなインパクトを与え、南蛮人(南洋からやってきた西洋人)のファッションや舶来品を題材とする斬新な絵画・工芸品が多く制作されました。

しかし、17世紀前半には鎖国に転じ、南蛮美術はその命脈を断たれることとなります。多くの作品が禁教により破壊されましたが、代表作の「泰西王侯騎馬図屏風」をはじめ、現在まで伝世したものも少なくありません。南蛮美術の名品約100件が国内外から集結するこの展覧会で、近世初期の革新的な美と、激動の歴史を体感してください。



〈万国図屏風〉(右隻) 桃山〜江戸時代初期 宮内庁三の丸尚蔵館蔵 (5月15日〜6月3日まで展示)

Light and Shadows in Namban Art

The Mystery of the Western Kings on Horseback

開館30年記念特別展 南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎



〈花鳥時絵螺鈿聖童〉 桃山時代 九州国立博物館蔵



重要文化財〈泰西王侯騎馬図屏風〉 桃山〜江戸時代初期 左:神戸市立博物館蔵、右:サントリー美術館蔵



8大帝王、30年ぶりの再会

流転の歴史を経て神戸市立博物館とサントリー美術館に分蔵されている「泰西王侯騎馬図屏風」。ダイナミック、そしてエレガントな帝王たちの勇姿を披露するとともに、東京文化財研究所の協力による最新の光学調査結果を紹介し、その技法的な秘密にも迫ります。



〈教皇像〉 慶長2年(1597) 東京大学総合図書館蔵



〈元和3年、長崎大殉教図〉(部分) 1626〜32年 イタリア内務省宗教建造物基金(ジェズ教会)蔵 Il patrimonio del Fondo Edifici di Culto, amministrato dal Ministero dell' Interno di Italia

◆記念講演会

1.「泰西王侯騎馬図屏風の謎を推理する」

4月28日(土) 午後2時〜3時30分
講師=岡 泰正(神戸市立博物館 参事・学芸員) 会場=地階講堂
定員=180人 聴講無料(ただし本展観覧券が必要。当日午後1時より会場前で入場整理券を配布。)

2.「イエズス会 vs. 徳川日本 ―初期洋画の舞台裏を読み解く」

5月19日(土) 午後2時〜3時30分
講師=塚原晃(神戸市立博物館学芸員) 会場=地階講堂
定員=各180人 聴講無料(ただし本展観覧券が必要。当日午後1時より会場前で入場整理券を配布。)

◆イブニング・レクチャー(学芸員による展覧会の見どころ解説)

会期中の毎週土曜日 午後5時〜5時30分
会場=地階講堂 定員=180人 聴講無料(ただし本展観覧券が必要。当日、先着順で受付。)

◆子ども向けプログラム

1. 子どもの目を通して「親子鑑賞会」

5月5日(土・祝) 午前の部:午前10時30分〜 午後の部:午後1時30分〜

2. 子どものためのワークショップ「立体屏風をつくろう!」

5月12日(土) 午後2時〜4時

◎プログラムの詳細と申込方法(往復ハガキで4月23日必着)は、展覧会公式サイトをご覧ください。博物館までお問い合わせ下さい。

◆入館料 ※()内は、前売り/団体料金、団体は30名以上。

一般1,300円(1,100円/1,000円)、高大生900円(750円/700円)、小中生500円(350円/350円)

※お得な前売券は4月20日(金)までの限定発売。前売券はチケットぴあ(Pコード:764-989)、ローソン(Lコード:57960)、CNプレイガイド、イープラス、ファミリーマート、サークルKサンクス、セブンイレブン(セブンコード014+421)などで販売。

※65歳以上で「神戸市すこやかカード(老人福祉手帳)」持参の方は当日一般料金が半額。障害者手帳持参の方は無料。神戸市および隣接6市1町、淡路3市、鳴門市、徳島市の小中学生は「のびのびバスポート」提示により無料。

神戸市立博物館

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地

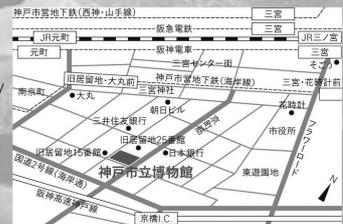
tel.078-391-0035 <http://www.city.kobe.lg.jp/museum/>

アクセス ●JR「三ノ宮」ポードライナー・地下鉄(山手線)・阪急・阪神「三宮」から南西へ徒歩約10分 ●JR「元町」から南東へ徒歩約10分

●地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸前」から南東へ約5分 ●新幹線「新神戸」駅で地下鉄(山手線)に乗り換え「三宮」下車 ●神戸空港からはポードライナーで約18分、「三宮」下車

※博物館に駐車場はありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

◎展覧会公式サイト <http://namban.exhn.jp>



(2) 第115回特別展

開館30年記念特別展
国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る

・内 容

当館所蔵の国宝桜ヶ丘銅鐸・銅戈は、昭和38年（1964）12月10日、六甲山中から偶然に発見された。不時発見にもかかわらず、迅速な現地調査と適切な保護措置が取られ、発見から5年余りでの国宝指定は、文化財保護に携わる機関や博物館関係者だけでなく、第一線の研究者や市民など多くの方々の協力と保護への熱意によって成し遂げられた。本展は、開館30年を記念して、当館の代表的な館蔵品のひとつである国宝桜ヶ丘銅鐸を中心に、かつて市内から出土した銅鐸をはじめ、各地から代表的な銅鐸を一堂に集め、その魅力を紹介した。

第一章「桜ヶ丘銅鐸の発見」では、桜ヶ丘銅鐸・銅戈の発見の状況と調査の成果を紹介した。第二章「形と文様」では、桜ヶ丘銅鐸の特徴のひとつである様々な文様構成や形態の違いが何を意味するのかを、各地の銅鐸と比較し紹介した。第三章「銅鐸絵画が語るもの」では、桜ヶ丘4号・5号銅鐸に代表される銅鐸に描かれた絵画の源流を探り、その意味するところに迫った。第四章「なぜ銅鐸は埋められたのか」では、桜ヶ丘銅鐸のように大量の銅鐸が埋納された遺跡を紹介し、その意味を考える展示とした。

間もなく発見（出土）から50年の節目を迎えるに当たって、本展を開催することで将来の保存と活用について考える上でも、意義深い展覧会となった。

- ・会 期／平成24年（2012）7月14日（土）～9月2日（日）
- ・会 場／特別展示室1
- ・主 催／神戸市立博物館、文化庁
- ・後 援／NHK神戸放送局、神戸新聞社
- ・入 館 料／（当日・一般）200円（クールスポット特別割引料金）
- ・開催日数／44日間
- ・入館者数／11,070人（普及事業を含む）
- ・出品点数／92件
- ・関連事業／
 - (1) 記念講演会「銅鐸絵画の主役たち」／会場 地階講堂
7月29日（日）午後14時～15時30分
深澤芳樹氏（独立行政法人奈良文化財研究所 副所長）
 - (2) インフォメーションスタッフによるスライド解説／会場 特別展示室1
会期中の毎日 午前11時と午後13時30分より約20分程度の解説
 - (3) こどものためのワークショップ「ミニ銅鐸をつくろう！」／会場 地階考古学習室
8月24日（土）・8月25日（日）いずれも10時～12時

開館30年記念特別展

国宝 桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る

2012年7月14日(土)~9月2日(日)

 神戸市立博物館 〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 / TEL.078-391-0035 <http://www.city.kobe.lg.jp/museum/>

同時開催

- ◆ 南蛮美術企画展『Meeting with the West! —西洋と出会った江戸美術—』
- ◆ 古地図企画展『海と陸の「みち」—江戸時代を旅する—』

- 開館時間 / 午前10時~午後5時(金曜日は午後7時まで。入館は閉館30分前まで)
- 休館日 / 月曜日(ただし、7月16日(月・祝)は開館。翌17日(火)は休館。)
- 主催 / 神戸市立博物館、文化庁 ● 後援 / NHK神戸放送局、神戸新聞社

 KOBECITY MUSEUM

 City of Design
KOBETOWN
United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization
Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

国宝 桜ヶ丘5号銅鐸

チラシ表

国宝 桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る

今から2000年以上昔の弥生時代、西日本の各地で、奇妙な形の鐘を使った神まつりが行われていました。やがてその青銅の鐘=銅鐸は役割を終え、地中深く埋められて人々から忘れ去られるという運命をたどります。これまでに地中から掘り出された銅鐸の数は500個以上。しかし研究が進んだ今なお、解明されない数々の謎を秘めています。

考古学上の最大の謎のひとつである銅鐸の、日本有数の出土地として知られるのが、神戸市灘区桜ヶ丘です。発見より約半世紀、桜ヶ丘銅鐸は、国宝として神戸市立博物館を代表する所蔵品となっています。各地から銅鐸が多数会するこの展覧会で、古代美術の傑作と謳われる桜ヶ丘銅鐸の魅力と考古学の謎解きの醍醐味を、ぜひご体験ください。



東奈良遺跡出土銅鐸鑄型復元品(茨木市)



谷文晁旧蔵銅鐸復元品(国立歴史民俗博物館蔵)



国宝 桜ヶ丘銅鐸・銅戈群(神戸市・桜ヶ丘出土)



桜ヶ丘銅鐸発見者の男性と研究者たち(写真は神戸市立博物館蔵)



加茂岩倉遺跡出土35号銅鐸(文化庁蔵)



悪ヶ谷出土銅鐸(東京国立博物館蔵)

同時開催

- ◆南蛮美術企画展『Meeting with the West! 一西洋と出会った江戸美術一』
- ◆古地図企画展『海と陸の「みち」一江戸時代を旅する一』
- 開館時間／午前10時～午後5時(金曜日は午後7時まで。入館は閉館30分前まで)
- 休館日／月曜日(ただし、7月16日(月・祝)は開館。翌17日(火)は休館)

■記念講演会『銅鐸絵画を読み解く』(仮題)

7月29日(日)午後2時～3時30分
[会場]地階講堂
[講師]深澤芳樹氏(独立行政法人奈良文化財研究所副所長)
定員=180名 ※聴講無料
(ただし観覧券が必要。当日午後1時より講堂前に入場整理券を配布。)

■スライド解説

毎日2回 ①午前11時～ ②午後1時30分
インフォメーションスタッフによる20分程度の解説
※聴講無料(ただし観覧券が必要。)3階特別展示室1で実施。

- 入館料／一般600円(450円)・高大生400円(300円)・小中生250円(150円)※()内は団体料金。団体は30名以上。

■学芸員によるギャラリートーク

8月5日(日)[2階ギャラリー]／7月21日(土)・8月12日(日)[古地図企画展]
8月19日(日)[南蛮美術企画展]
各回午後1時～ ※聴講無料(ただし観覧券が必要。)各会場で実施。

■こどものためのワークショップ『ミニ銅鐸をつくろう!』

8月24日(金)・25日(土)午前10時～午後12時
事前申し込みが必要です。プログラムの詳細と申し込み方法は、博物館ホームページをご覧ください。

■博物館エントランスに顔出し看板&音色試聴コーナー登場!

※使用料無料(ただし観覧券が必要。)

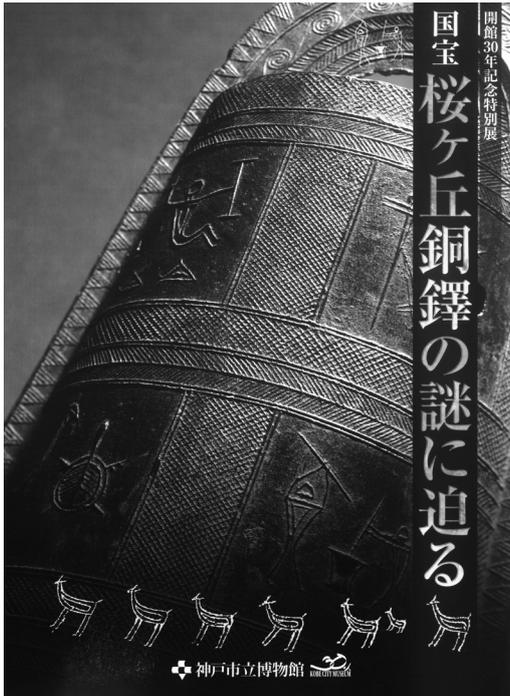


■アクセス

JR「三ノ宮」ポータライナー・地下鉄(山手線)・阪急・阪神「三宮」から南西へ徒歩約10分。JR・阪神「元町」から南東へ徒歩約10分。地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸前」から南東へ約5分。新幹線「新神戸」で地下鉄(山手線)に乗り換え、「三宮」下車。神戸空港からはポータライナーで約18分。「三宮」下車。
※博物館に駐車場はありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

 神戸市立博物館

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 / TEL.078-391-0035 <http://www.city.kobe.lg.jp/museum/>



図録



子どもガイド

どうたく なに 銅鐸って何ですか？

銅鐸は、豊作をいのる祭りに使われたと考えられている青銅製の鐘です。銅鐸の表面には、シカやトンボ、魚などの動物やヒトが描かれているものもあります。

どうたくん
銅鐸
豊作
祭りに
使われた
と考えら
れている
青銅製の
鐘です。

銅鐸の表面には、シカやトンボ、魚などの動物やヒトが描かれているものもあります。

No.62 桜ヶ丘4号銅鐸

銅鐸って、いつ作られたの？

銅鐸が作られたのは、日本に米づくりが伝わった弥生時代です。一番古い銅鐸は今から約2,200年前に作られました。神戸で見つかった桜ヶ丘銅鐸は約2,100年前の弥生時代中期のものでした。

銅鐸が作られたのは、日本に米づくりが伝わった弥生時代です。一番古い銅鐸は今から約2,200年前に作られました。神戸で見つかった桜ヶ丘銅鐸は約2,100年前の弥生時代中期のものでした。

銅鐸って何個くらいあるの？

今までに全国で約600個の銅鐸が発見されています。一カ所で見つかった数では島根県の加茂岩倉遺跡の39個というのが最多です。神戸市灘区にある桜ヶ丘遺跡からは14個の銅鐸が発見されました。

銅鐸が発見されたのは、日本に米づくりが伝わった弥生時代です。一番古い銅鐸は今から約2,200年前に作られました。神戸で見つかった桜ヶ丘銅鐸は約2,100年前の弥生時代中期のものでした。

いちばんおおき 一番大きな銅鐸ってどれくらい？

日本で最大の銅鐸は、滋賀県野洲市で見つかった銅鐸で高さが134.7cmあります。桜ヶ丘銅鐸で最大のものは6号銅鐸で63.7cm、最小のものは14号銅鐸の21.05cmです。

日本で最大の銅鐸は、滋賀県野洲市で見つかった銅鐸で高さが134.7cmあります。桜ヶ丘銅鐸で最大のものは6号銅鐸で63.7cm、最小のものは14号銅鐸の21.05cmです。

No.24桜ヶ丘14号銅鐸 No.33桜ヶ丘6号銅鐸

銅鐸のつくり方

1. 鋳型を作る
2. 外型と内型をあわせる
3. 銅を鋳型に流しこむ
4. 型割りをする

銅鐸のつくり方

銅鐸のつくり方

1. 鋳型を作る
2. 外型と内型をあわせる
3. 銅を鋳型に流しこむ
4. 型割りをする

銅鐸のつくり方

おうごんいろ 黄金色の銅鐸

銅鐸は長い年月、土の中に埋まっていたので、さびてみどり色をしているけど、作られた時は黄金色にかがやいていたんだ！

銅鐸は長い年月、土の中に埋まっていたので、さびてみどり色をしているけど、作られた時は黄金色にかがやいていたんだ！

No.64 谷文晁旧蔵銅鐸復元品

加茂岩倉遺跡29号・31号出土状況

銅鐸ものしりコーナー

聞く銅鐸から見る銅鐸へ

作られたはじめは小さかった銅鐸が、年代が進むにつれて大型化し、鑄のかざりも大きく、重くなっていきます。吊り手の部分の鑄の穴も小さくなるので置いて見たのではないかと考えられています。

銅鐸が出土する地名

銅鐸が発見される出土地は「神」のつく地名が多いです。神戸市灘区の桜ヶ丘町は、むかし「神岡」とよばれていました。島根県の荒神谷遺跡の「神庭」や大阪府「神於」遺跡、兵庫県「神種」遺跡、香川県「明神原」などがあります。

銅鐸が描かれたもよう

流水文 うすまき文 鋸歯文

水がさらさら流れるみたい グルグルうすまき 鋸の歯みたいながざざもよう

子どもガイド

※出品目録はHP（過去の特別展示）に掲載

(3) 第116回特別展

開館30年記念特別展

マウリッツハイス美術館展—オランダ・フランドル絵画の至宝

・内 容／

オランダ・ハーグにある王立のマウリッツハイス美術館は、オランダ領ブラジルの総督をつとめたナッサウ伯ヨハン・マウリッツ（1604～79）の邸宅を使い、1822年に開館した。オランダ黄金時代の絵画の殿堂として世界的に知られ、17世紀オランダ・フランドル絵画の珠玉の名品約800点を所蔵している。

同館が改修工事にはいるため、フェルメールの傑作として知られ、美術館の顔として最も人気の高い「真珠の耳飾りの少女」やレンブラントによる感動的な再晩年の「自画像」、オランダ風景画の巨匠ヤーコブ・ファン・ライスダールの「漂白場のあるハールレムの風景」、風刺が利いたヤン・ステーンの風俗画「牡蠣を食べる娘」など約50点の出品が実現。

フェルメールの貴重な初期作品「ディアナとニンフたち」や、フランドル絵画の巨匠ルーベンス、ヤン・ブリューゲル（父）の作品も合わせて展示。厳選された至宝の数々を通して、魅力あふれるオランダ・フランドル絵画の世界に触れる絶好の機会となった。

・会 期／平成24年（2012）9月29日（土）～平成25年（2013）1月6日（日）

・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

・主 催／神戸市立博物館、朝日新聞社、関西テレビ放送

・後 援／在大阪・神戸オランダ総領事館

・特別協賛／第一生命保険

・協 賛／ジェイティービー、ミキモト、凸版印刷、シュウ・ウエムラ

・特別協力／日本教育公務員弘済会兵庫支部

・協 力／KLMオランダ航空

・入 館 料／（当日・一般）1,500円

・開館日数／86日間

・入館者数／425,128人（普及事業を含む）

・出品点数／48点

・関連事業／

(1) 記念講演会／会場 地階講堂

① 「マウリッツハイス美術館の魅力と未来」

日 時：9月29日（土）14時～15時30分

講 師：エミリー・ゴードンカー氏（マウリッツハイス美術館 館長）

② 「17世紀オランダ絵画を見る作法—マウリッツハイス美術館作品を中心に」

日 時：10月20日（土）14時～15時30分

講 師：岡 泰正（神戸市立博物館 展示企画部長・学芸員）

(2) イブニング・レクチャー（学芸員による展覧会の見どころ解説）

会期中の毎週土曜日 17時～17時30分

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

定 員：180人

※聴講無料

(3) スクールマンデー

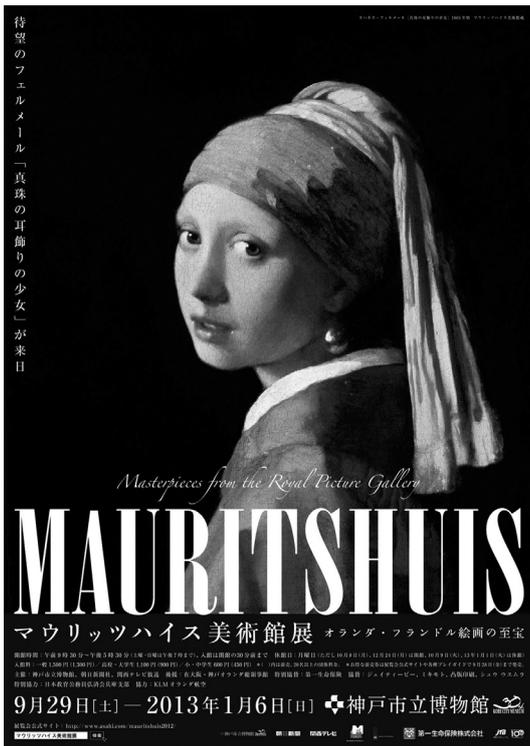
休館日を利用して、園児・児童・生徒のための特別鑑賞日を設けた。

10月15日（月）10時～14時

(4) 障害者のための鑑賞会

日 時：10月22日（月）10時～13時（入館は12時まで）

対 象：障害者手帳・療育手帳等をお持ちの方とその介護者1名



ポスター



図録



こどもガイド

※出品目録はHP（過去の特別展示）に掲載

待望のフェルメール「真珠の耳飾りの少女」が来日



Masterpieces from the Royal Picture Gallery

MAURITSHUIS

マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝

開館時間：午前9時30分～午後5時30分（土曜・日曜は午後7時まで）、入館は閉館の30分前まで 休館日：月曜日（ただし10月8日（月）、12月24日（月）は開館、10月9日（火）、13年1月1日（火）は休館）
主催：神戸市立博物館、朝日新聞社、関西テレビ放送 後援：在大阪・神戸オランダ総領事館 特別協賛：第一生命保険 協賛：ジェイティービー、ミキモト、凸版印刷、シェウ ウエムラ
特別協力：日本教育公務員弘済会兵庫支部 協力：KLM オランダ航空

9月29日[土] — 2013年1月6日[日]  神戸市立博物館 

 朝日新聞 関西テレビ   第一生命保険株式会社   ヨハネス・フェルメール「真珠の耳飾りの少女」1665年頃

チラシ表

レンブラント、ルーベンス、そしてフェルメール — 巨匠たちの競演!

オランダ・ハーグにある王立のマウリッツハイス美術館は、オランダ領ブラジルの総督をつとめたナッサウ伯ヨハン・マウリッツ(1604~79)の邸宅を使い、1822年に開館しました。オランダ黄金時代の絵画の殿堂として世界的に知られ、17世紀オランダ・フランドル絵画の珠玉の名品約800点を所蔵しています。

同館が改修工事にはいるため、フェルメールの傑作として知られ、美術館の顔として最も人気の高い「真珠の耳飾りの少女」やレンブラントによる感動的な最晩年の「自画像」、オランダ風景画の巨匠ヤーコブ・ファン・ライスダール「ベントハイム城の眺望」、風刺が利いたヤン・ステーンの風俗画「牡蠣を食べる娘」など約50点の出品が実現しました。

フェルメールの貴重な初期作品「ディアナとニンフたち」や、フランドル絵画の巨匠ルーベンス、ヤン・ブリューゲル(父)の作品も見逃すことができません。厳選された至宝の数々を通して、魅力あふれるオランダ・フランドル絵画の世界に触れていただく絶好の機会です。



1. ペーテル パウル・ルーベンス「聖母被昇天(下絵)」1622-1625年頃
 2. ヨハネス フェルメール「ディアナとニンフたち」1653-1654年頃
 3. ヤーコブ ファン ライスダール「ベントハイム城の眺望」1652-1654年頃
 4. レンブラント ファン レイン「自画像」1669年
 5. ヤン ステン「牡蠣を食べる娘」1658-1660年頃
 すべてマウリッツハイス美術館蔵

【観覧料】

	当日	団体(20名以上)
一般	1,500円	1,300円
高校 大学生	1,100円	900円
小 中学生	600円	450円

※観覧券は、JTB<店頭および一部を除く主要コンビニ(商品番号:当日0232475)>、本展公式サイト上のオンラインチケット、セブンイレブン(セブンコード:017-813)、チケットぴあ(Pコード:765-220)、ローソンチケット(Lコード:57226)、CNプレイガイド、イープラスなどで販売。
 ※65歳以上で「神戸市すこやかカード(老人福祉手帳)」持参の方は当日一般料金が半額。障害者手帳持参の方は無料。
 ※神戸市および隣接6市1町、淡路3市、鳴門市、徳島市の小中学生は「のびのびバスポート」提示により無料。

【イブニング・レクチャー】

(学芸員による展覧会の見どころ解説)
 会期中の毎週土曜日 午後5時-午後5時30分
 会場: 地階講堂
 定員: 各180人
 ※聴講無料(ただし本展観覧券が必要。当日、先着順で受付。)

観覧券やグッズ、イベント、混雑状況など、最新情報は、「マウリッツハイス美術館展」公式サイトで。
<http://www.asahi.com/mauritshuis2012/>

マウリッツハイス



神戸市立博物館 KOBE CITY MUSEUM

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
 Tel 078-391-0035 <http://www.city.kobe.lg.jp/museum/>

【交通案内】
 ○JR「三宮」、ポートライナー・地下鉄(山手線)・阪急・阪神「三宮」から南西へ徒歩約10分
 ○JR 阪神「元町」から南東へ徒歩約10分
 ○地下鉄(山手線)「田居留地 大丸前」から南東へ約5分
 ○新幹線「新神戸」で地下鉄(山手線)に乗り換え「三宮」下車
 ○神戸空港からはポートライナーで約18分、「三宮」下車
 ※博物館に駐車場はありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

チラシ裏

(4) 第117回特別展

日中国交正常化40周年
特別展 中国 王朝の至宝

・内 容／

日中国交正常化40周年を記念した本展では、夏から宋の時代にわたる歴代の王朝の都・中心地域に焦点をあて、それぞれの地域の特質が凝縮された代表的な文物を対比しながら展示するという新たな手法によって、多元的でダイナミックに展開してきた中国文化の核心に迫った。167件の出品作品のうち、約60%が国宝級の「一級文物」であり、質の高い資料を通して、中国3000年の歴史をたどる壮大な展示となった。なかでも、2008年に南京市長干寺から発見された「阿育王塔」(南京市博物館蔵)は南京市以外では初の公開であり、その巨大さ、荘厳さに多くの来館者が圧倒された。会期中には、記念講演会、ワークショップなどの子ども向けイベントも開催し、好評を得た。

・会 期／平成25年(2013)2月2日(土)～4月7日(日)

・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

・主 催／神戸市立博物館、中国文物交流中心、NHK神戸放送局、NHKプラネット近畿、
毎日新聞社、神戸新聞社、朝日新聞社

・後 援／外務省、中国国家文物局、中国大使館

・協 賛／信越化学工業、大日本印刷、三井住友海上、関西外国語大学、関西外国語大学孔子学院

・協 力／全日本空輸、東京中国文化センター、サンテレビジョン

・監 修／東京国立博物館

・入 館 料／(当日・一般)1,500円

・開催日数／56日間

・入館者数／86,932人(普及事業を含む)

・出品点数／167件

・関連事業／

(1) 記念講演会／会場 当館地階講堂

① 「中国文明の謎」

日 時：2月2日(土)14時～15時30分

講 師：松本 伸之氏(東京国立博物館 学芸企画部長)

② 「四川古代王国と秦始皇帝陵の出土文物」

日 時：3月9日(土)14時～15時30分

講 師：曾布川 寛氏(京都大学名誉教授)

(2) ワークショップ「古代中国グッズを作ろう！」

日 時：2月16日(土)10時30分～12時

会 場：地階考古学習室

(3) こうべ歴史たんけん隊 -神戸の中の中国を訪ねて-

日 時：3月20日(水・祝)10時30分～15時

(4) 春休み親子鑑賞会

日 時：3月24日(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時

日中国交正常化40周年

特別展

中国 王朝の至宝

栄華を極めたのは、誰だ！



CHINA :
Grandeur of the Dynasties

2013.2.2^[土]～4.7^[日]

◎開館時間／午前9時30分～午後5時30分 ◎土曜日・日曜日は午後7時まで閉館（入館は閉館の30分前まで） ◎月曜日休館（2月11日（月・祝）は開館、2月12日（火）は休館）

【主催】神戸市立博物館、中国文物交流中心、NHK神戸放送局、NHKプラネオ近畿、毎日新聞社、神戸新聞社、朝日新聞社

【後援】外務省、中国国家文物局、中国大使館 【協賛】信越化学工業、大日本印刷、三井住友海上、関西外国語大学、関西外国語大学孔子学院 【協力】全日本空輸、東京中国文化センター

神戸市立博物館
Kobe City Museum

KOBE
UNESCO City of Design

表紙図版：（中央）「阿育王尊」南京市博物館蔵／（左上から時計回りに）「龍射俑」秦始皇帝陵博物院蔵／「金製鳳」浙江省博物館蔵／「花鳥文鏡」陝西省考古研究院蔵／「金剛神坐像」西安碑林博物館蔵／「金製版面」成都金沙遗址博物館蔵

チラシ表

特別展「中国 王朝の至宝」

CHINA: Grandeur of the Dynasties

国宝級の「一級文物」が多数来日

中国で最古の王朝といわれる夏の時代からおよそ4000年の間、中国各地にはいくつもの王朝が誕生し、特色ある豊かな文化が育まれてきました。

本展では、夏から宋の時代にわたる中国歴代の王朝の都・中心地域に焦点をあて、それぞれの地域の特徴が凝縮された代表的な文物を対比しながら紹介します。

日本初公開の作品を含む計168件の貴重な文化財で、ダイナミックに展開された中国文化の核心に迫ります。

うじん
羽人【一級文物】
戦国時代・前4世紀
湖北省・荆州博物館蔵



きしゃよう
跪射俑【一級文物】
秦時代・前3世紀
陕西省・秦始皇帝陵博物院蔵



ぎそん
犧尊【一級文物】
戦国時代・前4～前3世紀
山東省・齊国故城遺址博物館蔵



きんせい かめん
金製仮面【一級文物】
殷～西周時代・前12～前10世紀
四川省・成都金沙遺址博物館蔵



新発見&日本初公開!

あいくおうとう
阿育王塔【一級文物】

北宋時代・大中祥符4年(1011) 江蘇省・南京市博物館蔵



南京市の古刹・長干寺の地下から出土した新発見の仏塔。高さが1mを超え、この種の遺品の中では最大のものです。阿育王塔という名前は古代インドのアシoka王(阿育王)が八万四千の仏塔を造立した故事にちなむものです。今回、中国政府の特別な計らいにより、南京市以外で初めて公開されます。圧倒的な存在感を放つ破格の姿を目の当たりにする、絶好の機会です。

記念講演会

- 1 「中国文明の謎」 講師: 松本 伸之 (東京国立博物館学芸企画部長)
2月2日(土) 午後2時～午後3時30分
- 2 「四川古代王国と秦始皇帝陵の出土文物」 講師: 曾布川 寛 (京都大学名誉教授)
3月9日(土) 午後2時～午後3時30分
※聴講無料(ただし本展観覧券が必要。当日、午後1時より講堂前で入場整理券を配布。)

会場: 地階講堂 定員: 各180人

子ども向けプログラム

- 3 ワークショップ「古代中国神の顔面カップホルダーを作ろう」
2月16日(土) 午前10時30分～正午
- 4 「こうべ歴史たんけん隊 - 神戸の中の中国を訪ねて -」
3月20日(水・祝) 午前10時30分～午後3時
- 5 「春休み親子鑑賞会」
3月24日(日) ①午前10時30分～正午 ②午後1時30分～午後3時
※③④は小学4～中学生、⑤は中学生以下のごと保護者。
③④⑤の詳細・申し込み方法は神戸市立博物館ホームページ・展覧会公式ホームページをご覧ください。

お得な前売り券は
2012年12月1日(土) から
2013年2月1日(金) までの
限定販売!

※満65歳以上で、神戸市すこやかカード(老人福祉手帳)持参の方は一般当日料金が半額。※障害のある方は身体障害者手帳・療育手帳などの提示で無料。※団体は20名以上。※神戸市および周辺6市1町、淡路3市、鳴門市、徳島市の小・中学生は、「のびのびパスポート」の提示により無料。※前売り券は、神戸市立博物館、チケットぴあ(Pコード765-431)、ローソンチケット(LコードF55041)、サークルK・サンクス、セブンイレブンほか京阪神の主要プレイガイドで販売。

神戸市立博物館 〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 ☎電話 078-391-0035
☐ 神戸市立博物館ホームページ <http://www.city.kobe.lg.jp/museum/>

中国 王朝の至宝 検索 ☐ 展覧会公式ホームページ <http://china-ocho.jp/>

観覧料	当日	前売・団体
一般	1,500円	1,300円
高大生	1,100円	900円
小中生	600円	450円



- JR「三宮」駅・ポートライナー・地下鉄(山手線)・阪急・阪神「三宮」から南西へ徒歩約10分
- JR・阪神「元町」から南東へ徒歩約10分
- 地下鉄(海岸線)「田屋留地」・大丸前 から南東へ約5分
- 新幹線(新神戸)で地下鉄(山手線)に乗り換え「三宮」下車
- 神戸空港からはポートライナーで約18分「三宮」下車
- 博物館に駐車場はありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。



図録



こどもガイド

※出品目録はHP（過去の特別展示）に掲載

2. 企画展示

(1) 南蛮美術企画展

Meeting with the West!—西洋と出会った江戸美術—

・内 容／

平成23年（2011）春、韓国・ソウル大学校美術館にて開催された「Meeting with the West : Collection from Kobe City Museum(神戸市立博物館名品展:西洋と出会った18-19世紀日本絵画・版画)」の帰国展。「鎖国」下の18-19世紀に西洋美術と再会した江戸美術をテーマとして、江戸美術がどのように西洋美術・文化を受容し、変容していったのかを、ソウル展の出品作品や関連作品など、49件を通してたどった。

- ・会 期／平成24年（2012）7月14日（土）～9月2日（日）
- ・会 場／南蛮美術館室
- ・関連事業／ギャラリートーク 8月19日（日）13時～13時30分

※出品目録はHP（過去の特別展示—過去に行われた企画展示）に掲載

(2) 古地図企画展

海と陸の「みち」－江戸時代を旅する－

・内 容／

江戸時代に整備された諸国の海と陸の「みち」。この「みち」筋の情報は刊行された地図に盛り込まれ、大名や武士、商業や交通に携わった人々の旅などの利用に供された。道中図や航路図など34点の資料から、「みち」に焦点をあて、街道筋の情報や、名所の姿を概観した。

・会 期／平成24年（2012）年7月14日（土）～9月2日（日）

・会 場／特別展示室2

※出品目録はHP（過去の特別展示－過去に行われた企画展示）に掲載



館内掲示ポスター

(3) ギャラリー

a 港都・神戸の情景

・会 期／平成24年（2012）4月13日（金）～6月3日（日）

ギャラリー

港都・神戸の情景

アオイ書房から出版された川西 英^{ひで}（1894～1965）の版画絵本『港都情景』（1941）には、古道具屋・船具商・進水式・船室・外国人水兵・サーカスなど英得意の神戸のエキゾティシズムを強調した挿絵が艶やかに添えられています。「港都・神戸の情景」展では、英自摺の挿絵原画全点を紹介します。

水上警察署や商工会議所を遠望する榊井一夫^{ますい かずお}（1908～91）の《メリケン波止場より》は、画家の友人が愛蔵していた印象派風に描かれた神戸港風景で、補修を経て今回初公開となります。阪神高速3号神戸線が建設される前の、情趣ある港の風景特集です。神原 浩^{かんぼら}、別車博資^{べっしやひろすけ}、川端謹次^{かみんじ}、小見寺八山^{おみでらはっせん}、伊川 寛^{いかわ}、菅原洗人^{すがはら せんじん}の作品をあわせて展示いたします。



榊井一夫《メリケン波止場より》1953年 油彩・キャンバス（新収蔵品）

平成24年（2012）4月13日（金）～6月3日（日）

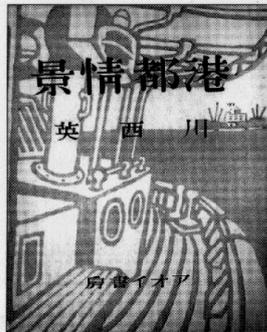
休館日：毎週月曜日（ただし4月30日は開館）、4月19日（木）、4月20日（金）

神戸市立博物館 2階ギャラリー

〒650-0034 神戸市中央区京町24 TEL 078-391-0035

同時開催 特別展 南蛮美術の光と影〔会期 4月21日（土）～6月3日（日）〕

開館時間 午前10時～午後5時（金・土曜日は7時まで開館、入館は閉館30分前まで）



川西 英
『港都情景』
〈表紙 ランチ〉



《船室》

亞米利加を想ひ 歐羅巴の夢を現實に幾度か置
んだ此船室。いろいろの船客がいろいろの事件
での航海。楽しい旅もあらずし 悲しき旅もあ
らう。その長い旅路の安息所が想ひ出深い船室で
ある。
窓の向はいつも青く 部屋は小さく 同じ壁紙
に、同じかたてんに 倦怠を帯びる或る日の孔
雀の尾羽振らげて踏む心のやうな感あつた日の心
とよ意味の歌がでさうで之を此の壁に高
書してみたい氣持がよふ浮んだ そんな氣持で
法廷深く見ると枕の邊に極く小さく 兩文字と半
紙が高書してある。同じ心の旅人をなつかし
み 愛着を感じた船室である。

『港都情景』は、アオイ書房の10周年を記念して刊行された書窓版画帖十連聚の一冊です(限定250部)。当時活躍中の創作版画の作家が、一人一冊、版画絵本制作を担当しました。其一から其九まで刊行された版画絵本の題名や発行年は下記のとおりです。

其一	織田 ^{かず} 一磨	『都会生活』(石版)	1941年9月30日発行
其二	川西 英	『港都情景』(木版)	1941年12月15日発行
其三	川上 ^{澄生} 澄生	『文明開化往来』(木版)	1941年12月15日発行
其四	前川 ^{せんぱん} 千帆	『新野外小品』(木版)	1942年7月25日発行
其五	関野準一郎	『東京の窓』(銅版)	1942年7月31日発行
其六	武井 ^{たけお} 武雄	『宇宙説』(銅版)	1942年12月25日発行
其七	逸見 ^{へんみ} 逸見 ^{たかし} 享	『水韻譜』(木版)	1942年12月25日発行
其八	恩地孝四郎	『蟲・魚・介』(混合技法)	1943年3月15日発行
其九	平塚 運一	『伊豆一周畫詞』(木版)	1943年3月15日発行

川西 英は、「神戸百景」の制作(1933~36年)やサーカスを題材にした作品によって、異国情緒豊かな木版画を発表する作家として地位を確立しました。『港都情景』には、どこかで見たことのある川西版画のエッセンスが詰め込まれた印象を受けます。また、当時の世相を反映する国威高揚を意識した表現も含まれています。

本展ではすべて川西自摺の挿絵原画を展示します。色彩がしっかりと載ったオリジナル木版画をお楽しみください。もちろん川西 英は書窓版画帖十連聚全九冊を所蔵していましたが、これらは英の創作版画コレクションに含まれていたため、京都国立近代美術館が一括購入しました。



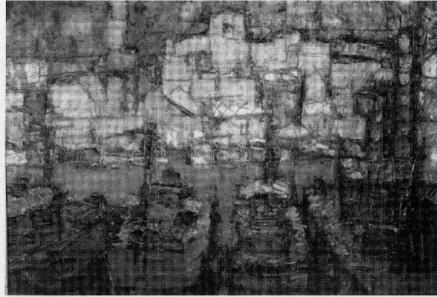
《姑娘》



《船具屋》



《西洋骨董店》



菅原洸人《港（赤）》



《神戸製鋼浜側》

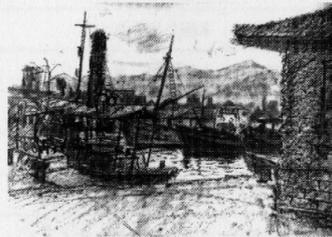
作家の言葉

昭和28年秋、30歳の私は神戸市に定着した。

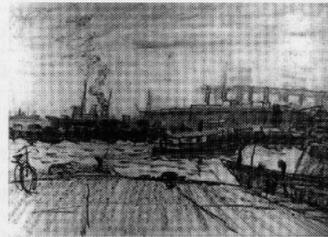
北野町の異人館街や港の風景を描いていたが、灘浜の神戸製鋼の巨大な工場群と黒煙を吐く煙突のすさまじさと、鉱石を熔解した赤い海水に圧倒された。

異様な美しさに心を奪われて、夢中で制作した。私の長いヨーロッパと神戸の画業の原点です。

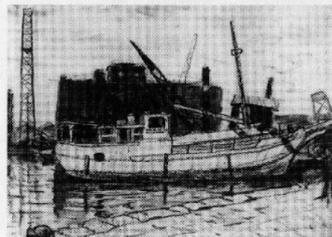
菅原 洸人



《神戸港》



《神戸港》



《港風景》



《神戸港風景》

菅原洸人（1922～）は本名・光三。山形県出身で、幼少時に北海道へ養子に出された後、波乱万丈の半生を送りました。神戸の市民美術教室で小磯良平、小松益喜に師事。1956年頃の作《街》で神戸市展一席を得ました。

戦災で焼失した山本通り1丁目の旧・小磯良平邸跡に建てられたバプテスト教会にて精神的に救われ、同敷地内に焼け残っていた旧・小磯家土蔵で一時期生活し、制作活動を続けました。1970年代より、ほぼ毎年2～3ヶ月フランスに滞在し、同地で制作。1970年代後半頃よりサロン・ドートンヌに出品。1990年、ドーヴィル国際絵画展（フランス）に出品した《河沿いの家（シャルトル）》が、グランプリ（大賞）を受賞しました。

平成18年度に寄贈された神戸港風景と素描を紹介します。

ギャラリー 港都・神戸の情景 出品リスト

作家名	番号	作品名	制作年	技法・材質	寸法(画面)
川端 謹次	1	潮風	1955 (昭和30年)	油彩・キャンバス	145.5 × 112.3
小見寺八山	2	神戸港図	1934 (昭和9年)	油彩・キャンバス	63.8 × 121.3
榊井 一夫	3	メリケン波止場より	1953 (昭和28年)	油彩・キャンバス	52.9 × 72.4
神原 浩	4	メリケン波止場	1950～60年代	エッチング、アクアチント・紙	14.8 × 32.3
伊川 寛	5	神戸港風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	41.1 × 32.0
菅原 洗人	6	港 (赤)	1955～64頃	油彩・キャンバス	65.0 × 90.0
別車 博資	7	汽船	1935 (昭和10年)	水彩・紙	23.4 × 32.3
〃	8	港祭の日	1949頃	水彩・紙	24.8 × 34.5
〃	9	神戸京橋	1963 (昭和38年)	水彩・紙	69.2 × 102.0
川西 英	10	「神戸百景」より《パイロットボート》	1936 (昭和11年)	木版色摺・紙	15.5 × 25.8
〃	11	商工会議所と水上署	1952 (昭和27年)	木版色摺・紙	32.6 × 24.0
〃	12	港俯瞰 (異人館)	1960 (昭和35年)	木版色摺・紙	32.7 × 48.0
〃	13-1	『港都情景』より《表紙 ランチ》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	27.2 × 44.0
〃	13-2	『港都情景』より《西洋骨董店》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.3 × 15.4
〃	13-3	『港都情景』より《滞船》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.2 × 15.4
〃	13-4	『港都情景』より《船室》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.4 × 15.3
〃	13-5	『港都情景』より《進水式》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.2 × 15.4
〃	13-6	『港都情景』より《観艦式》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.2 × 15.4
〃	13-7	『港都情景』より《船具屋》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.2 × 15.3
〃	13-8	『港都情景』より《曲馬》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.3 × 15.3
〃	13-9	『港都情景』より《姑娘》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.3 × 15.4
〃	13-10	『港都情景』より《街》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.4 × 15.2
〃	13-11	『港都情景』より《海岸》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	20.2 × 15.3
〃	13-12	『港都情景』より《浮標》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	6.2 × 5.2
〃	13-13	『港都情景』より《望遠鏡》	1941 (昭和16年)	木版色摺・紙	5.2 × 4.7
菅原 洗人	14	神戸製鋼浜側	1955～64頃	コンテ・紙	38.5 × 53.0
〃	15	神戸港	1955～64頃	サンキース、コンテ・紙	38.5 × 52.8
〃	16	神戸港	1955～64頃	サンキース・紙	38.5 × 52.3
〃	17	港風景	1955～64頃	コンテ・紙	38.5 × 52.3
〃	18	神戸港風景	1955～64頃	コンテ、パステル・紙	38.5 × 53.0



b 大正時代へ小旅行～阪神名勝図絵～

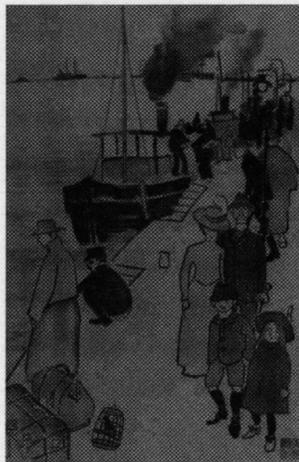
・会 期／平成24年（2012）6月6日（水）～7月12日（木）

ギャラリー 大正時代へ小旅行 ～阪神名勝図絵～

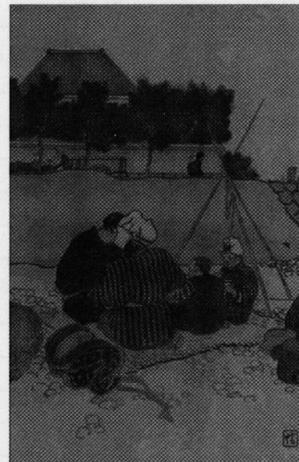
『阪神名勝図絵』は1916（大正5）年に、「大阪朝日新聞」にシリーズで掲載された阪神間の彩色木版画です。赤松麟作、永井瓢齋、野田九浦、幡恒春、水島爾保布の5人が30点を競作し、翌1917（大正6）年に金尾文淵堂より木版画集が刊行されました（彫刻：大倉半兵衛、印刷：西村熊吉）。

「大正時代へ小旅行 ～阪神名勝図絵～」では、その全点を紹介いたします。人々にぎわう《神戸 波止場》や《神戸市場 南京町》、教会の見える《三の宮》などは、今なお国際港都として栄える神戸のハイカラな姿を伝えています。一方、現在は全国有数の住宅街となっている《住吉》や《御影》では、稲の刈り取りに従事する人々や酒蔵の並ぶ中を馬車が進む様子が描かれ、のどかな雰囲気さえ漂っています。

懐かしい空気と新たな発見に満ちたこれらの作品群の中で、100年近い昔となる大正期の阪神間への小旅行をどうぞお楽しみください。



赤松麟作《神戸 波止場》



幡恒春《魚崎》

平成 24(2012)年 6 月 6 日(水)～7 月 12 日(木)

休館日：毎週月曜日

開館時間：午前10時～午後5時(金曜日は午後7時まで開館、入館は閉館30分前まで)

 神戸市立博物館 2階ギャラリー

〒650-0034 神戸市中央区京町 24 TEL 078-391-0035

【次回の展覧会案内】会期：7月14日(土)～9月2日(日)

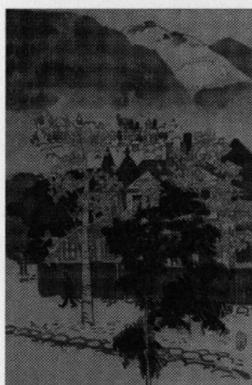
開館30年記念特別展「国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る」

南蛮美術企画展「Meeting with the West! - 西洋と出会った江戸美術 -」

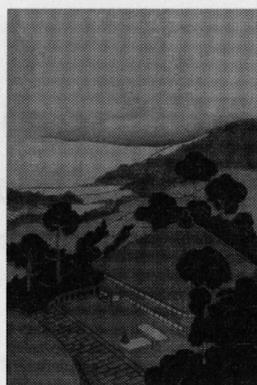
古地図企画展「海と陸の『みち』 - 江戸時代を旅する -」

ギャラリー 大正時代へ小旅行 ～阪神名勝図絵～ 出品リスト

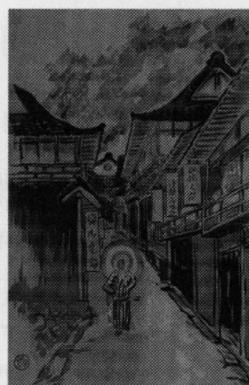
番号	作家名	作 品 名	制作年	技法・材質	画面寸法 (cm)
1	野田 九 浦	阪神名勝図絵(一)大和田	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.4
2	赤松 麟 作	阪神名勝図絵(二)尼ヶ崎	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.4
3	水島爾保布	阪神名勝図絵(三)武庫川	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.0 × 18.4
4	幡 恒 春	阪神名勝図絵(四)今津	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.3
5	永井 瓢 斎	阪神名勝図絵(五)西の宮	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.4
6	水島爾保布	阪神名勝図絵(六)甲山	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.3 × 18.4
7	幡 恒 春	阪神名勝図絵(七)香櫛園	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.5
8	野田 九 浦	阪神名勝図絵(八)芦屋	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.1 × 18.3
9	幡 恒 春	阪神名勝図絵(九)魚崎	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.5
10	赤松 麟 作	阪神名勝図絵(十)住吉	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.5
11	永井 瓢 斎	阪神名勝図絵(十一)御影	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.5
12	水島爾保布	阪神名勝図絵(十二)大石	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.6
13	野田 九 浦	阪神名勝図絵(十三)三の宮	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.0 × 18.4
14	赤松 麟 作	阪神名勝図絵(十四)神戸波止場	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.4
15	幡 恒 春	阪神名勝図絵(十五)神戸市場 南京町	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.4
16	野田 九 浦	阪神名勝図絵(十六)青谷	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.5
17	水島爾保布	阪神名勝図絵(十七)摩耶山	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.3 × 18.6
18	赤松 麟 作	阪神名勝図絵(十八)六甲山	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.3 × 18.6
19	幡 恒 春	阪神名勝図絵(十九)六甲山	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.3 × 18.7
20	永井 瓢 斎	阪神名勝図絵(二十)唐櫃村	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.3 × 18.6
21	〃	阪神名勝図絵(二十一)有馬	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.1 × 18.5
22	野田 九 浦	阪神名勝図絵(二十二)三田	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.5
23	水島爾保布	阪神名勝図絵(二十三)武田尾	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.8 × 18.4
24	赤松 麟 作	阪神名勝図絵(二十四)名塩	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.3 × 18.5
25	幡 恒 春	阪神名勝図絵(二十五)宝塚	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.3 × 18.5
26	赤松 麟 作	阪神名勝図絵(二十六)中山	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.3 × 18.6
27	水島爾保布	阪神名勝図絵(二十七)雲雀丘	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.4 × 18.2
28	永井 瓢 斎	阪神名勝図絵(二十八)伊丹	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.4
29	野田 九 浦	阪神名勝図絵(二十九)能勢	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.6
30	永井 瓢 斎	阪神名勝図絵(三十)猪名川	1917(大正6)年	木版色摺・紙	29.2 × 18.4



野田九浦《三の宮》



水島爾保布《摩耶山》



永井瓢斎《有馬》

c 絵画コレクション展

- ・ 会 期 / 平成24年(2012)7月14日(土)～9月23日(日)
- ・ 内 容 /

当館収蔵の近代絵画コレクションの中から伊川寛、大森啓助、金山平三、小松益喜、田村孝之介、元川嘉津美らの作品23点を紹介。新収蔵品の百武兼行の《裸婦》(1881年)も公開。

ギャラリー 絵画コレクション展

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	
1	伊川 寛	《裸婦》	制作年不詳	油彩・キャンバス	72.8×60.5	
2	伊川 寛	《編むひと》	制作年不詳	油彩・キャンバス	53.2×40.8	
3	伊川 寛	《神戸港風景》	制作年不詳	油彩・キャンバス	41.1×32.0	
4	伊川 寛	《双裸婦》	1976(昭和51)年頃	油彩・キャンバス	97.0×130.3	
5	大森啓助	《プルーヴェンツ・コンカルノーの港》	1929(昭和4)年	油彩・キャンバス	46.5×55.5	
6	大森啓助	《夏山》	1967(昭和42)年	油彩・キャンバス	91.0×116.8	
7	金山平三	《奥入瀬》	1945-56(昭和20-31)年頃	油彩・キャンバス	50.1×65.1	
8	栗原 信	《パリの裏街》	制作年不詳	油彩・キャンバス	21.5×14.2	
9	小松益喜	《グラッシャーニ氏邸》	1983(昭和58)年	油彩・キャンバス	45.5×53.0	
10	小松益喜	《最後の異人館》	1970-72(昭和45-47)年頃	油彩・キャンバス	130.3×162.0	
11	小松益喜	《煉瓦塀と異人館》	1983(昭和58)年	油彩・キャンバス	72.0×90.5	
12	田村孝之介	《黄衣婦人像》	1936(昭和11)年	油彩・キャンバス	90.7×72.6	
13	田村孝之介	《テラス(フランス パリ)》	制作年不詳	油彩・キャンバス	38.0×45.5	
14	田村孝之介	《青い敷物の裸婦》	1979(昭和54)年	油彩・キャンバス	116.7×90.9	
15	中西 勝	《棲う(女・木・豚)》	1981(昭和56)年	油彩・キャンバス	96.8×96.8	
16	中川一政	《鉄線花》	制作年不詳	油彩・キャンバス	41.0×23.1	神戸市蔵
17	西村 功	《ベンチの夫婦(ロンドン)》	1980(昭和55)年頃	油彩・キャンバス	50.3×61.1	
18	百武兼行	《裸婦》	1881(明治14)年	油彩・キャンバス	82.8×36.3	寄贈による新収蔵品
19	古家 新	《日の出》	1977(昭和52)年頃	油彩・キャンバス	32.1×41.0	
20	榊井一夫	《夏の舞子風景》	1965(昭和40)年	油彩・キャンバス	24.3×40.8	
21	元川嘉津美	《街景》	1972(昭和47)年	油彩・キャンバス	112.0×144.0	
22	元川嘉津美	《薔薇(マジョリカ)》	制作年不詳	油彩・キャンバス	52.0×44.6	
23	元川嘉津美	《赤絵鉢果物(メロン)》	制作年不詳	油彩・キャンバス	38.0×45.8	

平成24(2012)年

7月14日(土)～9月23日(日)

休館日：毎週月曜日(ただし7月16日、9月17日は開館)、7月17日、9月18日
開館時間：午前10時～午後5時(金曜日は7時まで開館、入館は閉館30分前まで)

神戸市立博物館 2階ギャラリー

〒650-0034 神戸市中央区京町24 Tel.078-391-0035

百武兼行《裸婦》1881年
(寄贈による新収蔵品)



【同時開催】会期：7月14日(土)～9月2日(日)
開館30年記念特別展 「国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る」
南蛮美術企画展 「Meeting with the West! - 西洋と出会った江戸美術 -」
古地図企画展 「海と陸の『みち』 - 江戸時代を旅する -」

【次回特別展のご案内】会期：9月29日(土)～平成25年1月6日(日)
開館30年記念特別展 「マウリッツハイム美術館展
- オランダ・フランドル絵画の至宝 -」

3. 学習室・図書室

(1) 学習室

昭和57年の開館以来親しまれてきた1階の学習室であるが、開館20周年を機に大幅に改修し、新たな学習室として、平成14年8月にリニューアルオープン。

改修にあたっては、博物館施設における展示手法の進展や学校教育との連携などを視野に入れ、特に子どもの視点に立って、「気づきと学びの『交流・体感』学習室」を基本コンセプトに設定した。常設展示では十分に展示・表現できない分野を補足するためのアイテムを準備し、来館者が様々な体験的活動をとおして博物館資料の持つおもしろさや楽しさに出会いながら、「気づき」と「学び」の環境空間の提供をめざしている。

学習室全体は、「触れて学ぶコーナー」「見るコーナー」「考えるコーナー」の3つのコーナーで構成されていたが、このうち「見るコーナー」、「考えるコーナー」のシステムが老朽化したため、コンテンツを一つに統合し、「みる・かんがえるコーナー」として平成22年度に新装した。あわせて、姉妹都市を紹介するコーナーの情報を、全面的にリニューアルした。



■触れて学ぶコーナー

ハンズオンプログラムを中心に、「触れる」「のぞく」「試す」「鳴らす」などの主体的行為によって体感・体験できる学習プログラムを展示している。ゆるやかに2つのゾーンを設け、銅鐸や土器などの考古資料を活用した「チャレンジ考古ゾーン」と、南蛮屏風パズル・源平合戦図屏風パズルやのぞき眼鏡などの当館所蔵資料を活用した「チャレンジ名品ゾーン」で構成されている。

またコーナー全体を壁面展示部分と可動式のワゴン12台の配置により空間構成しているので、学習内容や学習形態に合わせたワークショップスペースとしても活用できる。

展示しているハンズオンプログラム

チャレンジ考古ゾーン	・模造土器・模造埴輪に触れてみよう・考えてみよう（Q&A） ・手で見てみよう・竪穴住居模型の中を探索しよう ・銅鏡に写してみよう・模造農具を持ち上げてみよう ・復元銅鐸を鳴らしてみよう・銅鐸絵画の拓本をとろう ・古代ファッションを体験しよう
チャレンジ名品ゾーン	・南蛮屏風パズルを完成させよう ・源平合戦図屏風パズルを完成させよう ・のぞき眼鏡をのぞいてみよう



(2) 図書室

神戸、東西文化交流、考古、南蛮・紅毛美術に関する書籍の4分野を中心に、雑誌・辞典・豪華本・全集など本館の基本テーマに関するものを収集している。

館内の展示部門の基礎的理解を深めていきたい人、専門的に探求しようとする人たちのために気軽に利用できる約5400冊を揃えた開架式の図書室である。



図書室

4. 普及事業

(1). 博物館独自の事業

(一般向け事業)

(1) ミュージアム講座									計831人
10. 18 「開戦70年 海外をめぐるもうひとつの日蘭交流 ～オランダでの日本の戦争画紹介と調査研究の最先端～」						廣田学芸員			154人
11. 15 「オランダ絵画の見方」						岡学芸員			143人
12. 20 「オランダ地図学とフェルメール」						三好学芸員			144人
1. 17 「銅鐸絵画の源流をたどる」						橋詰学芸員			122人
2. 21 「見えざる世界のかたち－「氣」で読み解く古代中国の造形－」						川野学芸員			138人
3. 21 「瓦の来た道－中国の古代宮城から法隆寺若草伽藍まで－」						石島学芸員			130人
(2) 講座「博物館をたのしむ」									計49人
6. 15 「明治時代の教科書を読む」						國木田学芸員			16人
6. 22 「源平合戦図を読み解く」						問屋学芸員			17人
6. 29 「兵庫津の町を読み解く」						小野田学芸員			16人
(3) 展覧会関連事業									
①特別展「南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎」									
記念講演会									
4. 28 「泰西王侯騎馬図屏風の謎を推理する」						岡学芸員			127人
5. 19 「イエズス会vs. 徳川日本－初期洋風画の舞台裏を読み解く」						塚原学芸員			128人
コンサート									
4. 30 合唱と古楽器の響き「ザヴィエルの足跡をたどって」									
出演：ヴォックス・フマーナとアンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ									151人
5. 6 ポルトガルギターのしらべ「南蛮幻想－大航海時代の時空をこえて」									
出演：マリオネット									175人
イブニングレクチャー									
4. 21 岡学芸員 35人	4. 28 塚原学芸員 51人	5. 5 岡学芸員 51人							
5. 12 勝盛学芸員 61人	5. 19 石沢学芸員 70人	5. 26 塚原学芸員 63人							
6. 2 岡学芸員 91人									
②特別展「国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る」									
記念講演会									
7. 24 「銅鐸絵画の主役たち」 独立行政法人奈良文化財研究所 副所長 深澤芳樹氏									68人
③特別展「マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝」									
記念講演会									
9. 29 「マウリッツハイス美術館の魅力と未来」									
マウリッツハイス美術館 館長 エミリー・ゴーデンカー氏									176人
10. 20 「17世紀オランダ絵画を見る作法－マウリッツハイス美術館作品を中心に」									
						岡学芸員			171人
イブニングレクチャー									
9. 29 101人	10. 6 116人	10. 13 77人	10. 20 90人	10. 27 84人					
11. 3 114人	11. 10 112人	11. 17 79人	11. 24 83人	12. 1 105人					
12. 8 73人	12. 15 92人	12. 22 218人	12. 29 168人	1. 5 175人					

④特別展「中国 王朝の至宝」

記念講演会

- | | | | |
|--------------------------|----------------|-------|------|
| 2. 2 「中国文明の謎」 | 東京国立博物館 学芸企画部長 | 松本伸之氏 | 180人 |
| 3. 9 「四川古代王国と秦始皇帝陵の出土文物」 | 京都大学名誉教授 | 曾布川寛氏 | 180人 |

⑤障害者のための鑑賞会

- | | | | |
|--|--|--|------|
| 10. 22 特別展「マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝」 | | | 344人 |
|--|--|--|------|

⑥企画展ギャラリートーク

計76人

- | | | | |
|---|--|--------|-----|
| 7. 21 海と陸の「みち」－江戸時代を旅する－ | | 三好学芸員 | 23人 |
| 8. 5 絵画コレクション展 | | 廣田学芸員 | 9人 |
| 8. 12 海と陸の「みち」－江戸時代を旅する－ | | 小野田学芸員 | 21人 |
| 8. 19 Meeting with the West！－西洋と出会った江戸美術－ | | 石沢学芸員 | 23人 |

⑦開館30周年記念シンポジウム（詳細は博物館紀要No.29に報告）

- | | | | |
|------------------|---------|--|-----|
| 9. 30 13時30分～17時 | 会場／地階講堂 | | 58人 |
|------------------|---------|--|-----|

基調報告 「神戸市立博物館の30年とこれから」
神戸市立博物館 館長 梶本日出夫

「未来に向けたマウリッツハイス」

マウリッツハイス美術館 館長 エミリー・ゴーデンカー氏

「韓国における国立現代美術館の個性ある4館—ソウル館を中心に」

国立現代美術館ソウル館 館長 チョン・ヒョン・ミン氏

「赤レンガの美術館—歴史的建造物利用の意義」

姫路市立美術館 館長 山脇佐江子氏

（学校との連携事業）

- (1) ジュニア・ミュージアム講座 計101人

- | | | |
|-----------------|-----------------------|-----|
| 6. 9 第27回（前期） | 鏡をつくろう！ | 13人 |
| 6. 23 | 〃 ガラスのペーパーウェイトをつくろう！ | 19人 |
| 7. 7 | 〃 南蛮屏風をつくろう！ | 11人 |
| 10. 13 第28回（後期） | コルクボードでフェルメールに挑戦！ | 20人 |
| 11. 17 | 〃 グラスリッツェンでフェルメールに挑戦！ | 18人 |
| 12. 8 | 〃 砂絵でフェルメールに挑戦！ | 20人 |

- (2) 夏休み土器づくり教室 計120人

- | | | |
|---------------------|-------------|-----|
| 7. 21 成形A | 子供19人 大人16人 | 35人 |
| 7. 22 成形B | 子供19人 大人14人 | 33人 |
| 8. 4 土器焼き（神戸市立自然の家） | 子供28人 大人24人 | 52人 |
| 8. 11～26 | 展示 | |

- (3) 博物館たんけん隊

- | | | |
|-------|--|-----|
| 8. 20 | | 30人 |
|-------|--|-----|

- (4) こうべ歴史たんけん隊

- | | | |
|---------------------|--|-----|
| 3. 20 「神戸の中の中国を訪ねて」 | | 21人 |
|---------------------|--|-----|

- (5) こどもの日スペシャル

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----|
| 5. 5 特別展「南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎」 | （子供22人・大人19人） | 41人 |
|--------------------------------|---------------|-----|

- (6) こどものためのワークショップ

- ①＜まなぼう！あそぼう！～親子で楽しむ体験講座～＞ 計118人

- | | | |
|-----------------------|--------|-----------|
| 7. 28 南蛮オリジナル扇子をつくろう！ | 14：00～ | 子供9人・大人7人 |
|-----------------------|--------|-----------|

8. 4	ザヴィエル像ミニ掛け軸をつくろう！	14：00～	子供14人・大人12人	
8. 8	Doki Doki ワクワク！古代体験	11：00～	子供15人・大人6人	
		14：00～	子供11人・大人6人	
8. 11	Doki Doki ワクワク！古代体験	11：00～	子供9人・大人7人	
8. 11	伊能忠敬に挑戦！古地図ワークショップ	14：00～	子供9人・大人6人	
8. 25	土器の拓本をとろう！	14：00～	子供4人・大人3人	
②	親子で歩く居留地たんけん			27人
8. 14			子供15人・大人12人	
③	特別展「南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎」<こどものためのワークショップ>			
5. 12	立体屏風をつくろう！			17人
④	特別展「国宝 桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る」<子ども向けワークショップ>			計124人
8. 19	親子鑑賞会 午前の部		子供16人 大人14人	
	午後の部		子供10人 大人7人	
8. 24	ミニ銅鐸を造ろう！		子供20人 大人19人	
8. 25	ミニ銅鐸を造ろう！		子供19人 大人19人	
⑤	春休み親子鑑賞会			
3. 24	特別展「中国 王朝の至宝」			138人
⑥	スクールマンデー			
10. 15	特別展「マウリッツハイス展」			126人
⑦	特別展「中国 王朝の至宝」展ワークショップ			
2. 16	「古代中国グッズを作ろう！」			18人
(7)	学校団体受入数			計220校 7,914人
	幼稚園 0園 0人、小学校 49校 3,224人、中学校 80校 2,863人、			
	高等学校 26校 746人、特別支援学校 16校 254人、その他（大学・専修など）46校 827人			
(8)	学校授業への職員派遣			計111校 334時間 8,540人
	幼稚園 0園 0時間 0人、小学校 95校 293時間 7,249人、			
	中学校 14校 37時間 1,247人、高等学校 1校 2時間 40人、			
	特別支援学校 1校 2時間 4人			
(9)	教員のための博物館活用研修会の開催 8回			計392人
5. 15	神戸市高等学校地歴公民部総会			100人
5. 18	神戸市中学校教育研究会社会科研究部幹事総会			34人
7. 5	神戸市高等学校地歴公民部幹事会			13人
8. 3	神戸市中学校教育課程研究協議会（社会科）			117人
8. 11	福岡県高等学校歴史研究会 臨地研修			23人
8. 17	神戸市経験者研修講座（8年目研修）			15人
8. 29	美賀多台小学校校内研修			23人
2. 26	神戸市立中学校社会科教育研修会			67人
(10)	中学校「トライやるウィーク」の受入（各週4日間）			計13校 28人
5. 29～	星陵台中学校4人			
6. 5～	西神中学校2人・井吹台中学校2人・駒ヶ林中学校2人・雲雀丘中学校2人			
11. 6～	西台中学校2人・鈴蘭台中学校2人・上野中学校2人・住吉中学校2人			
11. 13～	神戸生田中学校2人・本山中学校2人・鷹匠中学校2人・湊翔楠中学校2人			

(1) 博物館実習

17大学 26人

- ① 7. 31～8. 4 9大学13人 ② 8. 21～8. 25 8大学13人



ミュージアム講座



こどものためのワークショップ



連携授業（浮世絵）



連携授業（古代体験）

(2). 共催事業・協力事業

- (1) 神戸・阪神歴史講座（第6回） 神戸史学会共催事業 会場：神戸市立博物館 地階講堂 65人
6. 17 「海辺の支配と神戸～尼崎」 近大姫路大学教育学部 助教 河野美央氏
「臨海工業地帯の歴史地理－神戸と尼崎の比較研究－」
尼崎市立地域研究史料館 館長 辻川敦氏
- (2) 旧居留地連絡協議会共催事業 協力：神戸市役所シティホールコンサート実行委員会 93人
9. 15 プロムナードコンサート in 神戸市立博物館 会場：神戸市立博物館 地階講堂
- (3) 神戸市外国語大学との連携協力事業
5. 16 共同企画セミナー「南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎」への誘い
会場：神戸市外国語大学 三木記念会館
「南蛮美術と泰西王侯騎馬図屏風」 神戸市立博物館 展示企画部長・学芸員 岡泰正
「ルドルフ2世とハプスブルク家芸術コレクション」
神戸市外国語大学教授 山之内克子氏
9. 30 開館30年記念国際シンポジウム（特別協力） 会場：神戸市立博物館 地階講堂 58人
12. 12 特別講演会 会場：神戸市外国語大学 三木記念会館

(3). 学習支援交流員活動

市民参画を進める開かれた博物館とするため平成20年度より導入した制度です。「学習支援交流員」は、「博物館の基本方針にしたがって、参加しようとする者の興味・経験・知識・技能など活かしながら市民と交流し、学習支援などを行う来館者サービスを通して、社会に貢献しようとする者」と規定しています。また、活動については、業務請負型ではなく、事業創出型を原則とし、参加者同士の交流や生涯学習の促進をはかることも目的としています。

(1) 学習支援交流員規約

(目的)

1. 神戸市立博物館（以下「博物館」という）は、市民参画を推し進める開かれた博物館をめざし、博物館における活動を通し、生涯学習の促進や人と人の交流を深めることを目的として「博物館学習支援交流員」（以下「交流員」という）を置く。

(定義)

2. 博物館における交流員は、博物館の活動方針にしたがい、参加しようとする者の興味、経験、知識、技能などを活かしながらおこなう来館者サービスを通して、社会に貢献しようとする者をいう。

(事務局)

3. 博物館は、円滑に業務をおこなうために事務局を博物館内に設置する。

(内容)

4. 前項の目的のために、以下に掲げる博物館における事業の補助に交流員を置く。
 - (1) 博物館展示資料および関連遺跡の解説に関すること。
 - (2) 講座・講演会・ワークショップなど教育普及事業に関すること。
 - (3) 学習室の案内・運営に関すること。
 - (4) その他、博物館が必要とする事業に関すること。

(資格)

5. 博物館学習支援交流員になろうとする者は、以下の要件を満たすものとする。
 - (1) 満18歳以上の者。
 - (2) 博物館の使命および理念と目的、基本的性格を理解し、自発的に活動できる者。
 - (3) 博物館が定める研修をすべて修了した者。

(登録および登録期間)

6. 交流員活動をしようとする者は、研修修了後に登録カードの提出をもってその資格が発生するものとする。

(登録の停止)

7. 博物館は本規約に基づいて、交流員として不適格であると認めた場合は、活動を停止させ、登録期間途中であっても登録を抹消することができる。

(交流員リーダーの設置)

8. 博物館と交流員の活動の連絡および調整をはかるために交流員リーダーを置く。交流員リーダーは、活動参加者の互選による。

(報酬等)

9. 交流員の活動にかかる報酬は、交通費を含め原則として支払わないものとする。

(保険加入)

10. 博物館で交流員活動をしようとする者は、神戸市社会福祉協議会のボランティア保険に加入しなければならない。

(2) 募集等

①登録期間 1年毎に募集。更新は5年限りとし、より多くの方々に参加頂くため再応募は不可。

②募集人数 10名程度(次年度は欠員数に応じて募集)

③登録条件 週2回程度(月8回程度)の活動。研修は全出席が条件。

④応募者 平成20年度 19人(内10人登録、21年度更新3人)

平成21年度 12人(内9人登録、22年度更新9人、23年度更新6人、24年度更新4人)

平成22年度 10人(内10人登録、23年度更新10人、24年度更新5人)

平成23年度 12名(内12人登録、24年度更新8人)

平成24年度 9名(内9人登録)

(3) 活動実績 (学習支援交流員の参加者数/参加人数はいずれも延べ人数)

平成20年度に導入して5年目となり、活動回数や活動参加総人数が増えつつある。学習支援交流員が企画・運営するワークショップや博物館が主催する体験講座や講演会などの補助が活動の中心となっている。これに学習室での学習支援と交流、館内案内も加え、活動の大きな柱として位置づけることを目標に活動を展開した。平成24年度の活動実績は以下のとおりである。

平成24年度の活動実績

学習支援交流員 自主企画・運営ワークショップ	実施回数7回	活動参加人数 77人
博物館企画の体験講座ワークショップ補助	実施回数14回	活動参加人数 55人
特別展関連行事支援(開会式・講演会など)	実施回数6回	活動参加人数 37人
市内中学校トライやるウィーク等の学習支援	実施回数4回	活動参加人数 22人
博物館実習の学習支援	実施回数1回	活動参加人数 3人
ミュージアム講座に伴う活動支援	実施回数4回	活動参加人数 11人
学校団体来館対応(学習室での学習支援と交流)	実施回数9回	活動参加人数 22人
一般来館対応(学習室での学習支援と交流・館内案内)	実施回数28回	活動参加人数 54人
アンケート集計・広報印刷物発送作業	実施回数34回	活動参加人数 72人
定例会	実施回数12回	活動参加人数181人
自主企画・運営ワークショップ検討会・勉強会等	実施回数4回	活動参加人数 56人
登録および登録更新にかかる研修会	実施回数3回	活動参加人数 53人
年間活動回数・活動参加者総合計(延べ人数)	活動実施回数126回	活動参加総人数643人



学習支援交流員の活動

5. 特別展・企画展等の開催一覧

月	特別展示室 1	南蛮美術館室	特別展示室 2	ギャラリー	ホール
4	<p>特別展「平清盛」 2月25日(土)～4月8日(日) 38日間 48,708人 共催：NHK神戸放送局、NHKブラネット近畿、神戸新聞社 *開館は午前10時、閉館は午後5時、金曜日の閉館時間は午後7時</p>				
	<p>4/10(火)～12(木) 臨時休館 4/20(金) 臨時休館</p>				
5	<p>開館30年記念特別展 「南蛮美術の光と影」 4月21日(土)～6月3日(日) 39日間 27,396人 共催：日本経済新聞社、神戸新聞社、NHK神戸放送局 *開館は午前10時、閉館は午後5時、金・土曜日の閉館時間は午後7時 4月30日(月・祝)は開館</p>			<p>ギャラリー 「港都・神戸の情景」 4月13日(金)～ 6月3日(日)</p>	
6				<p>ギャラリー 「大正時代へ小旅行 ～阪神名勝図絵～」 6月6日(水)～ 7月12日(木)</p>	
7	<p>7/13(金) 臨時休館</p>				
8	<p>開館30年記念特別展 「国宝 桜ヶ丘銅鐸の 謎に迫る」 7月14日(土)～ 9月2日(日) 44日間 11,070人 共催：文化庁 *開館は午前10時、閉館は午後5時、金曜日は午後7時 7月16日(月・祝)は開館</p>	<p>南蛮美術企画展 「Meeting with the West!－西洋と出会った江戸美術－」</p>	<p>古地図企画展 「海と陸の「みち」 －江戸時代を旅する－」</p>	<p>ギャラリー 「絵画コレクション展」 7月14日(土)～ 9月23日(日)</p>	
9	<p>9/25(火)～28(金) 臨時休館</p>				
10	<p>開館30年記念特別展 「マウリッツハイス美術館展」 9月29日(土)～1月6日(日) 86日間 425,128人 共催：朝日新聞社、関西テレビ放送 *開館は午前9時30分、閉館は午後5時30分、土・日曜日の閉館時間は午後7時 10月8日(月・祝)、12月24日(月・祝)は開館、10月9日(火)、1月1日(火)は休館</p>				
11					
12					
1	<p>1/8(火)～10(木) 臨時休館 1/29(火)～2/1(金) 臨時休館</p>				
2	<p>日中国交正常化40周年特別展 「中国 王朝の至宝展」 2月2日(土)～4月7日(日) 56日間 86,932人 共催：中国文物交流中心、NHK神戸放送局、NHKブラネット近畿、毎日新聞社、神戸新聞社、朝日新聞社 *開館は午前9時30分、閉館は午後5時30分、土・日曜日の閉館時間は午後7時 2月11日(月・祝)は開館、2月12日(火)は休館</p>				
3					

※入館者数は普及事業を含む。休館日は原則月曜日。

6. 刊行物

(1) 平成24年度の刊行物

特別展図録 国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る	1000円
館蔵品目録	
美術の部 No.29 浮世絵版画 総インデックス2 絵師名順 くにあき〜くにさだ	300円
考古・歴史の部 No.29 神戸市関係絵地図Ⅲ	200円
研究紀要 No.29	700円
年報 No.28 (PDF版)	HP上で公開
博物館だより No.102 (平成24年10月)・103号 (平成25年3月)	
ホンモノに会いに行こう 神戸市立博物館で楽しむ歴史と美	1,300円

(2) 展覧会図録

開催年度	展覧会名	価格
57('82)	海のシルクロード 南波松太郎氏収集古地図の世界	2,000円 品切
58('83)	神戸の文化財 びいどろ・ぎやまん展 古地図に見る世界と日本	1,200円 品切 品切
59('84)	眼鏡絵と東海道五拾三次展 はるばるとオランダ古地図展 更紗の世界展	品切 品切 品切
60('85)	中国五千年の秘宝展－中国天津市文物展－ 桃山時代の祭礼と遊楽	品切 品切
61('86)	ニューヨークメトロポリタン美術館特別出品 西洋の風景 狩人の夢－オーストラリア、アボリジニーの世界－	1,700円 1,300円
62('87)	ニューヨークパブリックライブラリー所蔵 日本絵画名作展 神戸はじめ物語展 明治のガラス展－びいどろからガラスへ－	品切 品切 品切
63('88)	ジャワ更紗展 中世を旅する聖たち展－一遍聖人と時宗－ 卑弥呼の鏡展 アイルランドチェスタービーティーコレクション 日本絵画名品展 神戸ゆかりの巨匠たち展	1,500円 品切 品切 1,500円 品切
元('89)	松方コレクション展 秋岡古地図コレクション名品展 小磯良平展	2,000円 品切 品切
2('90)	THEびいどろ展－江戸時代のガラス粋と美－ 隠元禅師と黄檗宗の絵画展 石峯寺展	1,900円 品切 品切
3('91)	南蛮見聞録－桃山絵画にみる西洋との出会い－	品切
4('92)	銅鐸の世界－地の神への「いのり」－ 中世の摺経展	品切 400円
5('93)	花と鳥たちのパラダイス－江戸時代長崎派 の花鳥画－ 太山寺の名宝展 栄光のオランダ絵画と日本	2,000円 2,000円 品切
6('94)	鎖国・長崎貿易の華－ギヤマン更紗金唐革－ 受贈記念上川庄二郎コレクション－明治鉄 道錦絵展－	品切 品切
7('95)	没後30年川西英展	品切
8('96)	オルセー美術館展ガイドブック 司馬江漢百科事展－生誕250年江戸時代のマ ルチタレント－	品切 2,200円
9('97)	日中歴史海道2000年展 日蘭交流のかけ橋展	2,000円 2,000円

開催年度	展覧会名	価格
10('98)	神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち コメはじめ物語・古地図と絵解き展 有馬の名宝－蘇生と遊興の文化－	1,400円 品切 2,000円
11('99)	居留地返還100周年記念 神戸・横浜“開化物語” 絵図と風景－絵のような地図、地図のような絵－	1,800円 1,800円
12('00)	文化財保護法50年記念 海の考古学 びいどろ・ぎやまん・ガラス－江戸から明治・大正－	800円 2,000円
13('01)	川西英の新・旧「神戸百景」 異国絵の冒険	1,500円 2,000円
14('02)	描かれた明治ニッポン 描かれた明治ニッポン(研究編)	1,800円 800円
15('03)	南蛮堂コレクションと池長孟 描かれた音楽－西洋音楽と出会った日本絵画－	1,500円 1,500円
16('04)	よみがえる兵庫津－港湾都市の命脈をたどる－	1,700円
17('05)	描かれた神戸物語	800円
18('06)	神戸の文化財Ⅱ	1,000円
19('07)	西洋の青－ブルシアンプル－をめぐって－	2,000円
20('08)	コレクションの精華	1,800円
21('09)	海の回廊－古代・中世の交流と美－	2,000円
22('10)	神戸で秀吉と出会う ワイドビューの幕末絵師 貞秀	300円 品切
23('11)	山本二三展 若芝と鶴亭 和ガラスの神髄展 日本絵画のひみつ	1,800円 200円 1,500円 1,300円
24('12)	国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る	品切

図録

発行年	図録名	単価
57('82)	常設展示案内 国宝 桜ヶ丘銅鐸・銅戈 南蛮美術館図録 東山魁夷 中国の旅展	品切 品切 500円 品切
60('85)	館蔵名品図録	品切
63('88)	博物館総合案内	品切
元('89)	松方コレクション西洋美術総目録	－
3('91)	館蔵名品図録	2,300円
6('94)	古地図セレクション	2,000円
9('97)	源平物語絵セレクション	2,000円
10('98)	南蛮美術セレクション	2,000円
12('00)	国宝桜ヶ丘銅鐸・銅戈	2,000円
25('13)	ホンモノに会いに行こう 神戸市立博物館で楽しむ歴史と美	1,300円

(3) 研究紀要

No	発行年度 価 格	内 容	執 筆 者
1	58 (83) 500円	ポルトガル地図学史上における日本地図の変遷 ウィローパターンの起源と変遷について — 18世紀輸出陶磁器の一視点 — 航路図屏風考 貝貼り書筆筒	三好唯義 岡泰正 中村善則 越智裕次郎
2	59 (84) 600円	狩野内膳考 江戸時代初期の日本図 安田雷州筆「赤穂義士報復図」と若干の銅版画作品をめぐって	成澤勝嗣 塚本桂大 岡泰正
3	60 (85) 品切	東播系中世須恵器生産の成立と展開 — 神出古窯址群を中心に — 播磨大蔵山遺跡1 — 縄文土器 — 新取南蛮屏風について	森田稔 中村善則 越智裕次郎
4	61 (86) 800円	ヴィテ・レーウ号積載の芙蓉手磁気について — 17世紀初頭におけるV.O.C.交易 — 南波コレクション中の刊行諸国図について 十六~十七世紀初期の摂津国兵庫津史料について — 種井家文書の紹介 —	岡泰正 三好唯義 問屋真一
5	62 (87) 500円	一人のイギリス人の残したアルバムから — 明治20年代前半の神戸外国人居留地の一側面 — 渡辺鶴洲家襲蔵粉本の研究	田井玲子 勝盛典子／成澤勝嗣
6	63 (88) 450円	市街地に消えた古墳 — 念仏山古墳 —	喜谷美宣
7	元 (89) 300円	播磨の古瓦 — 赤松啓介氏採集品より — 渡辺鶴洲研究資料補遺 — 『歴代画家提要』を中心に —	宮本郁雄 成澤勝嗣
8	2 (90) 300円	「石峯寺経塚」遺物の再検討 五輪塔形曳覆曼荼羅について — 中世版木資料からの考察を中心に —	森田稔 問屋真一
9	3 (91) 300円	江戸時代後期における輸出漆器の資料 神戸市立博物館所蔵頭椎太刀の保存処理 透過試験による頭椎太刀の観察	岡泰正 渡辺智恵美 増澤文武／村田忠繁
10	4 (92) 300円	『伊能図』に関する若干の考察 鳩谷天愚孔平伝 — 司馬江漢周辺の一奇人 —	赤木康司 塚原晃
11	5 (93) 500円	A.H.グループ1 — 在日50年に及ぶ1人のイギリス人の足跡 — J.ブラウの1645/46年版世界地図について 石峯寺如法大般若経について	田井玲子 三好唯義 中村善則／問屋真一
12	7 (95) 500円	「大日本国地震之図」の資料紹介 阪神淡路大震災による被害と復旧	前田和宏 喜谷美宣／森田稔 勝盛典子／塚原晃 山中健 (英文抄録)
13	8 (96)	神戸市立考古館史稿 神戸市立博物館所蔵経筒の材質について 神戸市立博物館所蔵鑄製経筒の保存処理 P.カエリウス1609年版世界地図をめぐって 播州村上天家文書について — 特別展「鎖国長崎貿易の華」補遺 —	喜谷美宣 村上隆 尾崎誠 三好唯義 勝盛典子
14	9 (97) 500円	外国人と土地所有権 怪鳥カズル江戸を歩く — 寛政元年渡来のヒクイドリ — 柳田義一氏蒐集瓦経資料について	洲脇一郎 成澤勝嗣 中村善則
15	10 (98) 500円	中国の西湖景と日本の浮絵 — 阿英「閑話西湖景『洋片』発展史略」をめぐって— 貞秀=玉蘭斎ノート — 地図および地図の作品への手がかりとして — 神戸市立博物館における学校と連携事業 初代玄々堂松本保居の銅版画	岡泰正 三好唯義 磯辺次雄 塚原晃
16	11 (99) 500円	国立歴史民俗博物館特定研究南蛮関係資料班による神戸市立博物館所蔵「聖フランシスコ・ザ ヴィエル像」の調査に関する概要 大浪から国芳へ — 美術にみる蘭書受容のかたち — 『岡山藩家老日置忠自筆御用勤書上』と神戸事件	神庭信幸 勝盛典子 高久智広
17	12 (00) 500円	近代美術と地図 — 川上冬崖と岩橋教章 — 語りかける図像 — 太山寺蔵「絹本着色愛染曼荼羅」をめぐって— 『御用唐木細工物雛形』について — 近世後期長崎における工芸資料の紹介 —	塚原晃 川野憲一 勝盛典子
18	13 (01) 500円	近世期兵庫津北浜における浜先地開発と屋敷割の変化について 兵庫津遺跡における埋蔵文化財調査の現状 — 発掘調査の成果と文献・絵画史料から考える近世都市景観の復元に向けて — 古地図と版元 — 館蔵品にみる江戸時代の地図出版について — 新出の毘盧遮那仏変相図について — 高麗末期華嚴経仏画の一様相 — 昭和初期の神戸観光写真をめぐって I	高久智広 藤井太郎 国木田明子 川野憲一 田井玲子

19	14 (02) 500円	池長孟と牧野富太郎 太山寺所蔵の高麗国王発願金字写経 博物館と学校がさらに近づいていくために — 「連携授業」 への取組・実践を中心として — 青貝細工壺型ナイフ入れに関する資料紹介 「万国絵図屏風」の原図について — 1609年版P.カエリウス世界地図の復元 —	勝盛典子 松林宏典 麻田明生 岡泰正 三好唯義
20	15 (03) 500円	「和田岬・湊川砲台関係史料」について — 近世兵庫津における会所日記 明石川流域所在の木槨墓について 岩嶺山石峯寺文化財調査報告書 (一) 博物館の評価についての考察	高久智広 小野田一幸 富山直人 川野憲一 吉田尚
21	16 (04) 500円	新出資料『長崎伝硝子製』を読み解く 五雲亭貞秀の地理調査レポート — 『東海道五十三駅勝景』をもとに — 若杉五十八研究 若杉五十八の作品に用いられている顔料の特徴について — 特に青色顔料の同定から — 伯母野山遺跡の研究 — 齊藤英二氏寄贈資料の整理報告を中心として —	岡泰正 三好唯義 勝盛典子 朽津信明 口野博史／富山直人 池田毅／松林宏典 前田佳久／渡辺今日子
22	17 (05) 700円	亜欧堂田善鑄「コロンブス謁見図」をめぐって 近世兵庫津における会所日記・続 「和田岬・湊川砲台関係史料」について 二 古瓦調査ノート — 柳田コレクションの整理より — 和鏡にみえるもの — 神戸市立博物館所蔵の中世和鏡の検討 —	勝盛典子 小野田一幸 高久智広 富山直人 池田毅
23	18 (06) 500円	近世日本におけるワートルロー戦闘図の流布と制作について 御伽草子「月王・乙姫物語(りうくう)」 企画展ホンモノたちが教科書をとびだした! — ザヴィエルや銅鐸たちにあいに行こう — を終えて	塚原晃 問屋真一 高久智広
24	19 (07) 600円	プルシアンブルーの江戸時代における受容の実態について — 特別展「西洋の青 — プルシアンブルーをめぐって」関係資料調査報告 — 日本におけるプルシアンブルーの初期使用例とそれに関わる作品の使用顔料 江戸時代の紺青輸入について — オランダ船の舶載品を中心として — 吉田初三郎の神戸鳥瞰図について 布引徳光院出土の考古資料 田善とテンセン — 亜欧堂系銅版江戸名所図における表現技法上の諸問題 —	勝盛典子 朽津信明 石田千尋 三好唯義 口野博史 塚原晃
25	20 (08) 600円	龍と宝珠 — 神戸性海寺蔵如意輪観音画像について — 「和田岬・湊川砲台関係史料」について 三 ワイローパターン・ストーリー 横浜の写真師・日下部金兵衛と神戸風景 1	川野憲一 高久智広 岡泰正 田井玲子
26	21 (09) 700円	有馬温泉寺の銅製経箱 京都西町奉行所与力木村家と家中奉公人について 館蔵古地図の袋について — 書林情報を中心に袋からわかる事 — 二ノ宮神社保存土器 横浜の写真師・日下部金兵衛と神戸風景 2 版画家・春村ただをとその作品について 近世日本におけるプルシアンブルーの受容 — 秋田蘭画を中心に —	川野憲一／問屋真一 小野田一幸 国木田明子 口野博史 田井玲子 金井紀子 勝盛典子／朽津信明
27	22 (10) 700円	南蛮人交易図屏風 — 探幽による南蛮屏風の変容 『海外新話』の視覚 — その挿図と五雲亭貞秀 「嘉納次郎作家文書」に含まれる台場築造関係史料 京都西町奉行所同心の勤向きについて — 平川伴蔵「日記」の紹介をかねて —	石沢俊 塚原晃 高久智広 小野田一幸
28	23 (11) 500円	嘉永七年(一八五四)のロシア船来航と大坂船手頭の役割 岡田春燈斎「大日本勝景一覧」にみる地理情報	高久智広 小野田一幸
29	24 (12) 700円	初期洋風画と「絵画と印刷のセミナー」 — 泰西王侯騎馬図屏風などの制作年代・環境をめぐる試論 — 文献資料と落款・印章から考える広渡湖秀 『画図 和漢船用集』と林園苑 南蛮人洋犬蒔絵箱の保存修復 秋田蘭画における彩色表現の特質 — 佐竹曙山筆「岩に牡丹図」と小田野直武筆「獅子図」の検証から — 神戸市立博物館開館30周年記念シンポジウムの記録	塚原晃 石沢俊 石沢俊 勝盛典子 勝盛典子

(4) 館蔵品目録

No.	発行年	地図の部	価格	美術の部	価格	考古・歴史の部	価格
1	59('84)	南波コレクション 世界図・日本図	200円	南蛮美術	100円	古鏡	100円
2	60('85)	南波コレクション 分国図・地方図・郡村図	200円	黄檗美術・長崎派・長崎版画	400円	引札	300円
3	61('86)	南波コレクション 諸国図・都市図	300円	江戸時代諸派	200円	小学校教科書	300円
4	62('87)	南波コレクション 江戸図・京都図・大坂図	300円	浮世絵版画 I 江戸系	500円	神戸市関係絵地図	300円
5	63('88)	南波コレクション 外国関係図・北海道関係図	200円	浮世絵版画 II 江戸系補遺・上方系・大坂系 ・雑系	400円	古文書 I 藻川家文書・上津上村関係文書	400円
6	元('89)	南波コレクション 道中関係図・寺社関係図・その他	150円	銅版画	300円	写真・絵葉書 I	300円
7	2('90)	新収外国製古地図	200円	地図・文書 I 博覧会展覧会・横浜・浪速・神 戸資料綴・開化雑絵・御固・外 国人物図等・中華船破損救助 感謝状綴・輸出茶商標・駱駝図 等級・図書	200円	考古資料 I	200円
8	3('91)	秋岡コレクション 世界図・日本図・江戸図 ・都市図・諸国図等	200円	近代絵画	200円	写真・絵葉書 II	200円
9	4('92)	秋岡コレクション 天文暦学関係書・暦	200円	文書 II 川村家文書・村上家(阿蘭陀 宿)文書・川島家文書	200円	引札 II	200円
10	5('93)	秋岡コレクション 外国製地図・外国製図書	200円	工芸品	200円	神戸市関係絵地図 II	200円
11	6('94)	秋岡コレクション 地理学関係書・測量関係書・ 漢書(天文地理測量等)	200円	文書 III 村上家文書・その他貿易文書	200円	古文書 II 八田家文書・岡田家文書・木村 家文書・中村関係文書・山路家 文書・山口家文書	200円
12	8('96)	秋岡コレクション 道中関係図・周辺地域図)・そ その他	200円	文書 IV 林子平関係文書・絵図・版画・ 古文書・図書原稿類・その他	200円	拓本・石造品・古鏡 II	200円
13	9('97)	新収蔵古地図	200円	文書 V 本木家文書邦文資料・同欧文 資料(『諸雑書集』)	200円	写真・絵葉書 III	200円
14	10('98)	(古地図資料は13号にて完結)		村上金次郎コレクション 楠正成および太平記関係資料	200円	古文書 III 兼吉家文書	200円
15	11('99)			別車博資浮世絵コレクション I 江戸・東京版行の浮世絵資料	200円	写真・絵葉書 IV	200円
16	12('00)			別車博資浮世絵コレクション II 大坂・京版行の浮世絵資料	200円	古文書 IV 住吉良運商社文書	300円
17	13('01)			朝田翔次郎役者絵コレクション I 大坂・京版行の浮世絵資料	100円	古文書 V 酒造関係文書 1	200円
18	14('02)			朝田翔次郎役者絵コレクション II 江戸・東京版行の浮世絵資料	200円	古文書 VI 酒造関係文書 2	200円

No.	発行年	地図の部	価格	美術の部	価格	考古・歴史の部	価格
19	15('03)			文書Ⅵ 筏井家旧蔵書	200円	考古資料Ⅱ 柳田コレクションⅠ	200円
20	16('04)			外国製陶磁器	300円	神戸市関係版本Ⅰ	200円
21	17('05)			日本製陶磁器	300円	神戸市関係版本Ⅱ	200円
22	18('06)			近代絵画Ⅱ・彫刻	300円	古文書Ⅶ 摂津国八部郡奥平野村森本家 文書	200円
23	19('07)			漆工芸・ガラス工芸品	200円	古文書Ⅷ 摂津国有馬郡下二郎村大庄屋 芝家文書・摂津国有馬郡下二 郎村庄屋前中家文書	200円
24	20('08)			新収中近世絵画	200円	写真・絵葉書Ⅴ	200円
25	21('09)			池長孟・旧市立神戸美術館・旧神 戸市立南蛮美術館収集近世絵画	200円	古文書Ⅸ 摂津国八部郡兵庫津関係文書	200円
26	22('10)			池長孟・旧市立神戸美術館・旧神 戸市立南蛮美術館収集近世絵画 Ⅱ	200円	写真・絵葉書Ⅵ	200円
27	23('11)			長崎版画	300円	古文書Ⅹ 浜本陣絵屋(鷹見)右近右衛門 家文書	200円
28	24('12)			浮世絵版画 総インデックスⅠ 絵師名順あ～き	300円	古文書Ⅺ 摂津国三田藩九鬼家文書	200円
29	25('13)			浮世絵版画 総インデックスⅡ 絵師名順くにあき～くにさだ	300円	神戸市関係地図Ⅲ	200円

(5) 年報

No.	内容	価格	No.	内容	価格
1	57・58年度	700円	14	9年度	500円
2	59年度	500円	15	10年度	500円
3	60年度	700円	16	11年度	500円
4	61年度	600円	17	12年度	500円
5	62年度	800円	18	13年度	500円
6	63年度	品切	19	14年度	500円
7	元年度	900円	20	15年度	400円
8	2年度	500円	21	16年度	500円
9	3年度	500円	22	17年度	400円
10	4年度	500円	23	18年度	400円
11	5年度	500円	24	19年度	400円
12	6年度	500円	25	20年度	400円
13	7・8年度	800円	26	21年度	400円

※平成22年度以降はHP上にPDF版で公開

収蔵資料

1. 新収蔵資料

(1) 受贈資料

分類	作者 名称	制作年	員数	寄贈者
歴史	田中千尋氏収集資料	明治後期～昭和期	8件18点	田中千尋
歴史	デラカンプ家旧蔵写真	明治後期～昭和期	1枚	松尾郁子
歴史	関浦清次郎関係資料	明治45年(1912) ほか	1件3幅	関浦昭子・松永雅夫
歴史	G. ボーデン氏関係資料	明治中期～後期	4件7点	Christian Georg Boden
歴史	間島保夫氏収集資料	江戸時代後期～ 昭和期	186件699点	間島久代
歴史	レファート家資料	明治後期～昭和期	4件24点	Walter Hermann Refardt

(2) 購入資料

分類	作者 名称	制作年	員数	購入元
歴史	摂津国兔原郡篠原村除地反別絵図(写)	江戸時代	1枚	萬字屋書店
歴史	開港神戸図(写)	慶応4年(1868)頃	1枚	萬字屋書店
歴史	摂津国兔原郡八ヶ村組合惣代鍛冶屋村文書	江戸時代後期	一括550通	萬字屋書店
歴史	摂州兔原郡御影村文書	江戸時代後期	一括59通	萬字屋書店
地図	兵庫県新風景	昭和7年(1932)	1帖・1冊	上崎書店
歴史	番付諸国温泉一覽	明治時代前期	1枚	岩神書店
歴史	有馬名勝図	明治39年(1906)	1枚	岩神書店
絵画	戸田忠翰筆 立葵に鶏白頭翁図	江戸時代後期	1幅	山本美術店
絵画	デ・サリエト版 カディスに近いデ・サンタ・マリア岬における英蘭海戦図	18世紀後期	1枚	古美術寺崎
絵画	ドッガーバンク海戦図 戦闘の終わり	18世紀後期	1枚	古美術寺崎
歴史	兵庫津 穀物仲間記録	天保～慶応年間	1件	秦川堂書店
絵画	蘭詩画帖	寛政2年(1800)頃	1帖	山本美術店
歴史	神戸廻船問屋 松屋文書	天保～安政年間	一式43点	秦川堂書店
歴史	諸船港出入并碇泊税手数料取立帳	明治8年(1875)	1帖	秦川堂書店
工芸	染付和蘭模様碗	江戸時代後期	10口	青雅堂
工芸	イギリス製釉下緑縁白磁皿	18世紀後期～ 19世紀初期	1枚	海老屋美術店
工芸	銅製鍍金経箱	文永8年(1271)	1件	吉平美術店
絵画	石崎融思筆 長崎港図	文化3年(1820)	1面	山本美術店

2. 指定文化財等一覧

指定区分	指定年月日	指定番号	資料名称	員数	時代
国宝	昭和45. 5. 25	考第34号	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群	21口	弥生時代中期
重要文化財	昭和28. 3. 31	絵第1257号	泰西王侯騎馬図	4曲1隻	江戸時代
重要文化財	昭和32. 2. 19	絵第1390号	織田信長像（古溪宗陳賛）	1幅	桃山時代 天正11年（1583）
重要文化財	昭和43. 4. 25	絵第1625号	四都図・世界図	8曲1双	江戸時代初期
重要文化財 （附指定）	昭和45. 6. 17 （昭和56. 6. 5）	建第1771号	旧小寺家厩舎設計図他	68点	明治43年（1910） ※旧小寺家厩舎の付属指定
重要文化財	平成7. 6. 15	絵第1983号	南蛮屏風（狩野内膳筆）	6曲1双	桃山時代
重要文化財	平成9. 6. 30	絵第1957号	相州鎌倉七里ヶ浜図（司馬江漢筆）	2曲1隻	寛政8年（1796）
重要文化財	平成12. 6. 27	絵第1974号	聖フランシスコ・ザヴィエル像	1面	江戸時代初期
重要美術品	昭和9. 9. 1		西洋二武人図・師父二童子図	2面	江戸時代初期
重要美術品	昭和23. 4. 27		伝福岡県内経塚出土遺物	10点	平安時代 永久5年（1117）
登録文化財	平成10. 9. 2	第28-0026号	神戸市立博物館（旧横浜正金銀行神戸支店）	1棟	昭和10年（1935）

3. 資料補修

[美術資料]

資料名	制作年	数量	補修内容
金子金陵筆 海棠に白鷗図	江戸時代	1幅	解体、汚れの除去、剥落止め、旧裏打紙の除去、補絹（25年度継続修理）
司馬江漢筆 七里浜図（重要文化財）	江戸時代	2曲1隻	外れている棧の固定（応急修理）
松尾秀山筆 紅毛人風俗図	江戸時代	2曲1隻	外れている棧の固定（応急修理）
北山寒巖筆 東方朔図	江戸時代	1幅	棧の釘を正常に戻す（応急修理）
渡邊秀銓筆 長崎唐館交易図巻	江戸時代	1巻	八双部端の留めと紐の取り付け（応急修理）
中国宮廷図	江戸時代	4曲1隻	こはぜの新調・取付（応急修理）
筏井家文書箱	江戸時代	1合	蓋の損傷部分の接合（応急修理）

4. 資料の特別利用

平成24年度館外貸出 申請数30件（貸出先34件）96件 152点

(1) 館外貸出

貸出先（会場・巡回先）	展覧会名	会 期	点数	資 料 名
社団法人神戸港振興協会 （会場：神戸海洋博物館）	神戸海洋博物館常設展示	24. 4. 1 - 25. 3. 31	1 件 1 点	ブロンズ製平清盛座像（西村公朝）
兵庫県立美術館 （ひろしま美術館）	「日本の印象派・金山平三展」	24. 4. 7 - 5. 20 24. 9. 15 - 9. 23	1 件 1 点	富士に梅（金山平三）
神戸教育委員会 （会場：神戸市埋蔵文化財センター）	春季企画展「神戸古代史探検－縄文から古墳時代－」	24. 4. 14 - 6. 3	3 件 3 点	桜ヶ丘 4 号銅鐸（複製） 桜ヶ丘 5 号銅鐸（複製） 桜ヶ丘 5 号銅戈（複製）
長崎歴史文化博物館	「珍獣？霊獣？ゾウが来た！展」	24. 4. 21 - 6. 10	16件23点	阿蘭陀人持渡牝象 oliphant 阿蘭陀船持渡象 HOLLANDER紅毛人乗象図 象図（無題 奥村政信） 渡来象之図 象入象のみつき全 二十四孝童子鑑 大舜（歌川国芳） 染付象に阿蘭陀人文鉢 色絵象にインド風俗図壺 中国宮廷図 異国楼閣に泉水図 異国海港楼閣図 異国人根付 象牙西洋人文小箱 オランダ船中図（城義隣）
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	春季特別展「三国志の時代－2・3世紀のアジア－」	24. 4. 21 - 6. 17	1 件 1 点	格子タタキの土器（吉田南遺跡）
東京藝術大学大学美術館 （山形美術館、京都国立近代美術館）	「近代洋画の開拓者 高橋由一」	24. 4. 28 - 6. 24 24. 7. 20 - 8. 26 24. 9. 7 - 10. 21	3 件 3 点	初代玄々堂像 日吉丸 常盤御前（以上 3 件高橋由一）
神奈川県立歴史博物館	「ペリーの顔・貌・カオ－「黒船」の使者の虚像と実像」	24. 7. 7 - 8. 26	1 件 4 点	幕末風俗図巻
荒神谷博物館	特別展「古事記に見える「音と舞」」	24. 7. 7 - 8. 27	3 件 3 点	朝鮮式銅鐸（平壤市貞柏洞出土） 小銅鐸（大韓民国槐亭洞遺跡出土） 馬鐸（大韓民国天馬塚古墳出土）
青森県立美術館	企画展「Art and Air - 空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語」	24. 7. 21 - 9. 17	5 件 19 点	日本絵図（鍛形恵斎） 中国鳥瞰図（葛飾北斎） 高野山細見絵図（橋保春） 京都一覽図画 大坂名所一覽（以上 2 件歌川貞秀）
京都国立博物館	特別展「大出雲展」	24. 7. 28 - 8. 19	1 件 1 点	桜ヶ丘 5 号銅鐸
東京都江戸東京博物館	開館20周年記念「二条城展」	24. 7. 28 - 9. 23	1 件 2 点	洛中洛外図屏風
相生市教育委員会 （会場：相生市民会館）	相生市制70周年記念「福田眉仙展」	24. 9. 6 - 9. 27	1 件 1 点	兵庫県大鳥瞰図（福田眉仙）
山口県萩美術館・浦上記念館	「清親と安治－光線画の時代－」	24. 9. 8 - 10. 8	5 件 5 点	晃山名跡家つと 田子の浦 薩陀峠 富士十二景 新吉原夜桜景（以上 5 件小林清親）
福岡市博物館	特別企画展「能のかたち NIPPON 美の玉手箱」	24. 9. 15 - 11. 11	1 件 1 点	観能図屏風
仙台市博物館	特別展「江戸の旅－たどる道、えがかれる風景－」	24. 9. 28 - 11. 11	8 件 9 点	巖島図巻（岡岷山） 磐城紀行図巻 富嶽山頂図巻（以上 2 件白雲） 奥州白河郡大槻村山泉図（大野文泉） 十曲湖（菅江真澄） 男鹿半島図巻（伝菅江真澄） 三国第一山之図 富士詣独案内（以上 2 件五雲亭貞秀）
橿原考古学研究所	秋季特別展「『日本国』の誕生－古事記が出来た頃展」	24. 10. 6 - 11. 25	1 件 1 点	遣唐使船模型
大阪城天守閣	特別展「秀吉の城」	24. 10. 6 - 11. 25	3 件 3 点	蒔絵桜花南蛮人文鞍 伏見桃山御殿御城ノ画図 羽柴秀吉制札（寄託資料）

神戸市教育委員会 (会場：神戸市埋蔵文化財センター)	秋季企画展「清盛の生き時代」	24.10.6-11.25	4件4点	唐草文軒平瓦(雪御所遺跡出土) 福原殿舎怪異之図(葛飾北為) 清盛入道布引滝遊覧悪源太義平靈討難波太郎(歌川国芳) 一の谷合戦図(源平合戦図屏風のうち)
町田市立国際版画美術館	「北斎と広重 きそいあう江戸の風景」	24.10.6-11.25	7件7点	浮絵三夕三幅対(奥村政信) 楊弓場(鈴木春信) 三囲景(司馬江漢) 風流江戸八景忍岡ノ晩鐘(磯田湖竜斎) 浮絵アルマニヤ珍薬物集之図(歌川豊春) 房総海陸勝景一覽(葛飾北斎) 東都名所浅草今戸(歌川国芳)
兵庫県立歴史博物館	特別展「赤松円心・則祐」	24.10.13-12.2	1件1点	赤松貞範禁制(太山寺文書 寄託資料)
神戸市立小磯記念美術館 (ふくやま美術館)	生誕110年「小磯良平の世界展」	24.10.14-12.24 25.1.12-3.3	1件1点	池長美術館長像(小磯良平)
たつの市教育委員会 (会場：たつの市立室津海駅館)	特別展「西国の海と清盛～源平の争乱と室津～」	24.10.17-12.2	3件3点	武者無類平相国清盛 新形三十六怪撰 清盛福原に数百の人頭を見る図 平清盛炎焼病之図(以上3件月岡芳年)
大分市歴史資料館	特別展「大分どんなとここんなとこ-世界図・日本図の中の大分」	24.10.19-11.25	2件2点	扶桑国都水陸地理図 日本輿地図藁
大阪市立美術館	特別展「北斎」	24.10.30-12.9	5件23点	風流無くてななくせ遠眼鏡 阿蘭陀画鏡 江戸八景および袋 銅板近江八景および袋 東海道名所一覽袋付 木曾路名所一覽袋付(以上5件葛飾北斎)
明石市教育委員会(会場：明石市立文化博物館)	「発掘された明石の歴史展-明石の古墳Ⅱ」	24.11.23-12.24	1件1点	須恵器杯身(西神ニュータウン内遺跡第No.33-3A号古墳出土)
板橋区立美術館	「江戸文化シリーズNo.28 我ら明清親衛隊」	24.12.1-25.1.6	4件4点	夏富士図 葡萄図(以上2件宋紫石) 玉取り竜宮のてい(奥村政信) 浮絵和国景跡龍宮玉取之図(歌川豊春)
大阪歴史博物館	特別展「天下の城下町大坂と江戸」	25.2.2-3.25	1件1点	織田信長像
サントリー美術館	「歌舞伎座新開場記念展 歌舞伎-江戸の芝居小屋-」	25.2.6-3.31	6件6点	京洛・中国風景図巻(伝円山応挙) 中村座仮名手本忠臣蔵(西村重長) 芝居狂言浮絵百夜草鎌倉往来(鳥居清経) 芝居狂言浮絵金閣寺之図(鳥居清久) 江都大芝居顔見世狂言惣座中奇初之図(鳥居清長) 浮絵歌舞伎芝居之図(歌川豊春)
兵庫陶芸美術館	特別展「尾形周平展」	25.3.9-5.26	5件16点	楽焼西洋人物図皿 鏤絵阿蘭陀風俗図皿 鏤絵寿老人図皿(以上3件尾形周平) 色絵唐人物図急須 色絵唐人物図煎茶碗(以上2件二代尾形周平)
京都文化協会(会場：ガレリアかめおか)	「文化財デジタル複製作品展」	25.3.12-3-24	1件2点	南蛮屏風(高精細複製)

(2) 特別利用

※平成23年度以前はHP（特別利用）に掲載

a. 館外貸出

年度	件数	貸出先	貸出点数	年度	件数	貸出先	貸出点数
15	45	51	305	20	24	25	241
16	38	41	170	21	33	33	257
17	28	30	196	22	36	36	232
18	27	28	249	23	31	32	264
19	28	31	323	24	30	34	152

b. 特別利用

		昭和57～平成15年度		14年度		15年度		16年度	
許可件数		8,655※		587		640		616	
資料 内 訳		件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
	熟覧	727	6,570	71	666	57	635	50	335
	模造	53	86	2	4	1	3	0	0
	撮 映画・テレビ	463	2,018	5	6	11	22	2	2
	影 写真	733	5,113	57	544	54	740	48	334
	掲載許可	6,487	15,943	469	1,102	503	1,546	511	1,118
	原版使用	4,583	13,798	283	792	331	999	308	837
	紙焼付与	431	2,314	15	95	10	39	14	84
	その他	689	3,842	38	166	58	432	49	153

		17年度		18年度		19年度		20年度	
許可件数		649		544		603		740 (2,632点)	
資料 内 訳		件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
	熟覧	52	466	42	404	38	194	47	737
	模造	2	12	2	2	4	4	1	2
	撮 映画・テレビ	8	47	4	8	5	11	10	32
	影 写真	42	394	44	394	33	152	49	719
	掲載許可	556	1,061	450	890	515	1,083	612	1,191
	原版使用	196	717	240	545	280	606	348	924
	紙焼付与	13	53	3	3	1	23	12	69
	その他	60	101	48	110	48	135	55	150

		21年度		22年度		23年度		24年度	
許可件数 (許可点数)		749 (2,241点)		740 (2,108点)		810 (2,507点)		748 (2,633点)	
資料 内 訳		件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
	熟覧	50	419	43	171	53	465	41	592
	模造	0	0	0	0	0	0	0	0
	撮 映画・テレビ	4	10	3	20	5	15	3	7
	影 写真	43	491	41	120	45	445	34	412
	掲載許可	627	1,308	630	1,180	667	1,518	648	1,596
	原版使用	325	733	363	667	365	890	312	944
	紙焼付与	4	15	1	3	1	17	1	2
	その他	37	124	30	60	47	149	32	166

※の件数は昭和60年度以降

入館者数

1. 経年

(単位：人)

区分	平成12年度まで	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
開館日数	全体	4,964	285	186	297	295	291	286	280	283	284	298	296
	特別展	2,828	198	136	179	189	169	167	175	190	200	236	226
入館者数	常設展	456,267	11,924	5,027	17,873	15,546	26,053	22,671	19,736	14,326	13,480	6,733	6,654
	特別展	3,921,087	221,465	285,482	423,640	274,439	317,846	531,625	401,312	143,420	278,426	266,027	551,258
	普及事業	122,100	3,473	818	2,303	5,003	3,266	4,551	1,930	1,196	1,522	1,633	1,233
	計	4,499,454	236,862	291,327	443,816	294,988	347,165	558,847	462,993	422,978	158,942	293,428	274,393
1日平均	全体	906	831	1,566	1,494	1,000	1,193	1,954	1,511	562	1,033	921	1,889
	特別展	1,387	1,119	2,099	2,367	1,452	1,881	3,183	2,293	755	1,392	1,127	2,439

2. 年齢・階層別

(単位：人)

月	23年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	24年度計
区分														
開館日数	8,040	21	27	25	25	27	21	26	26	27	21	23	27	296
うち特別展	4,877	16	27	3	15	27	4	26	26	27	5	23	27	226
一般	425,163	319	1	1,231	507	0	1,382	0	0	0	898	1	0	4,339
高大生	54,945	11	0	123	52	0	177	0	0	0	87	0	0	450
小中生	126,137	203	0	405	129	0	64	0	0	0	861	0	0	1,662
シルババー	14,152	16	0	49	23	0	62	0	0	0	53	0	0	203
小計	620,397	549	1	1,808	711	0	1,685	0	0	0	1,899	1	0	6,654
一般	6,338,970	16,280	16,003	3,518	2,739	5,489	7,043	108,635	109,703	117,722	40,715	24,538	39,649	492,034
高大生	470,315	334	834	139	256	636	298	4,177	4,325	6,724	2,678	599	972	21,972
小中生	498,572	916	1,309	69	199	856	205	3,047	3,721	4,810	2,300	726	1,937	20,095
シルババー	205,373	1,433	887	140	0	0	82	2,749	2,817	2,767	797	2,077	3,408	17,157
小計	7,513,230	18,963	19,033	3,866	3,194	6,981	7,628	118,608	120,566	132,023	46,490	27,940	45,966	551,258
普及事業	151,566	0	23	81	80	137	0	174	161	148	122	156	151	1,233
合計	8,285,193	19,512	19,057	5,755	3,985	7,118	9,313	118,782	120,727	132,171	48,511	28,097	46,117	559,145

入館者数/日	1,030	929	706	230	159	264	443	4,569	4,643	4,895	2,310	1,222	1,708	1,889
--------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

3. 特別展

展覧会名	平清盛		南蛮美術の光と影		国宝桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る		マウリッツハイス美術館展		計
	入館料	入館料	入館料	入館料	入館料	入館料	入館料	入館料	
会期	2/25～4/8		4/21～6/3		7/14～9/2		9/29～1/6		
入館料(開催日数)	38		39		44		86		207
一般	個人	1,200	11,003	1,300	7,686	200	6,320	1,500	195,452
	団体	900	3,280	1,000	2,160			1,300	77,809
	前売	1,000	3,409	1,100	1,294			1,300	39,526
	計		17,692		11,140		6,320		312,787
高次生	個人	850	686	900	844	150	889	1,100	14,568
	団体	650	55	700	187			900	1,871
	前売	700	148	750	94			900	1,375
	計		889		1,125		889		17,814
小中生	個人	450	478	500	224	100	498	600	6,398
	団体	300	50	350	30			450	1,450
	前売	300	58	350	11			450	680
	計		586		265		498		8,528
シルババー	個人	600	4,669	650	1,218			750	9,212
計		23,836		13,748		7,707		348,341	393,632
ミュージアム・カード		1,100		1,038		453		3,056	5,647
免除・無料		23,641		12,587		2,705		73,228	112,161
合計		48,577		27,373		10,865		424,625	511,440
入館者数/日		1,278		702		247		4,938	2,471

※入館者数は普及事業関係を除いた人数。

予 算

(単位：千円)

項目 \ 年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
資料購入費	6,000	4,200	0	2,345	4,380	1,500	2,000	2,000	3,000	3,000
資料整理費	12,352	9,763	8,220	7,550	7,498	6,920	6,211	4,994	4,994	4,801
特別展等開催費	22,711	281,919	113,994	344,395	136,836	223,154	90,788	87,941	178,590	214,220
普及事業費	15,329	11,387	7,850	7,665	7,171	7,158	9,542	11,358	7,408	6,837
光熱水費	27,737	27,737	23,577	23,208	23,208	23,208	23,208	23,208	23,200	23,200
施設管理費等	70,268	65,026	61,929	61,600	61,575	60,150	53,522	48,400	41,987	42,044
事務費等	9,105	19,842	19,989	17,678	18,407	8,094	7,145	12,068	16,617	61,002
合計	163,502	419,874	235,559	464,441	259,075	330,184	192,416	189,969	275,796	355,104

平成24年度予算は、空調設備改修工事補正予算を含む。

博物館協議会

平成24年度

会 長

神 木 哲 男 神戸大学名誉教授 (学識経験)

副会長

河 上 繁 樹 関西学院大学文学部教授 (学識経験)

委 員

村 谷 芳 行 神戸市立小学校教育研究会社会科部長 (成徳小学校長) (学校教育)

中 阪 守 神戸市立中学校教育研究会社会科部長 (鈴蘭台中学校長) ()

富 浦 誠 神戸市立高等学校教育研究会地歴公民部会長 (須磨翔風高等学校長) ()

玉 田 はる代 神戸市婦人団体協議会会長 (社会教育・市民代表)

山 口 淑 美 特定非営利活動法人こうべユースネット顧問 ()

金 辻 綾 子 神戸市PTA協議会家庭教育専門委員長 ()

奥 村 比左人 神戸労働者福祉協議会副会長 ()

田 岡 由美子 第11期市政アドバイザー ()

内 田 俊 秀 京都造形芸術大学芸術学部教授 (学識経験)

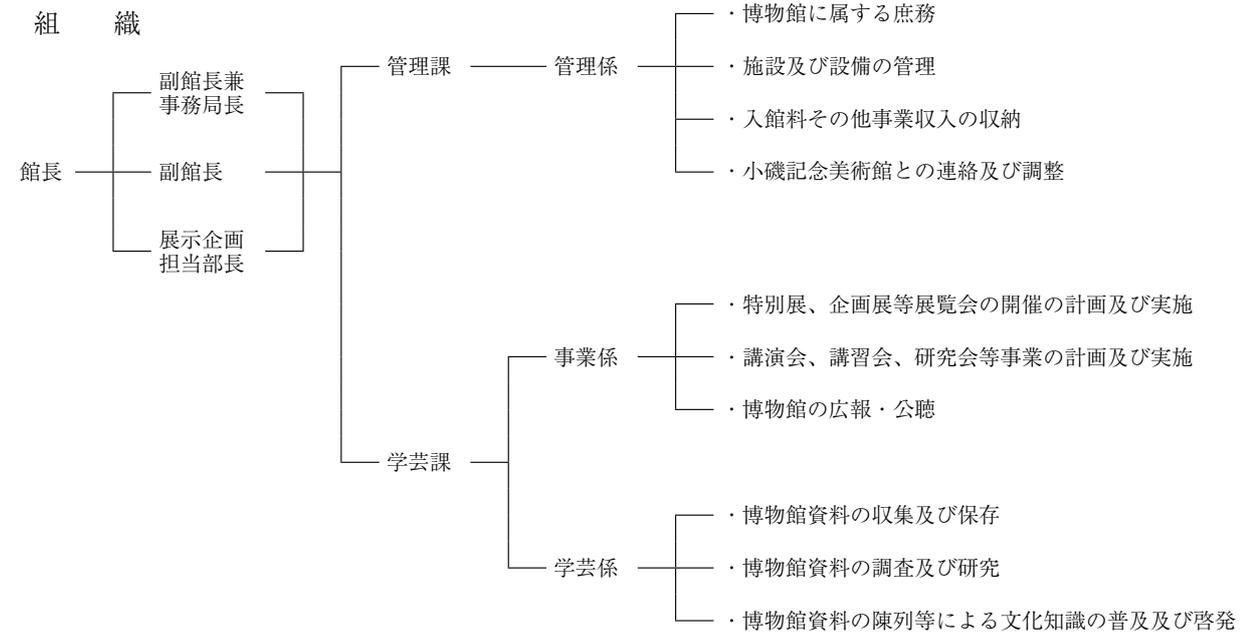
藤 岡 穰 大阪大学大学院教授 ()

瀬 口 郁 子 神戸大学名誉教授 ()

深 澤 芳 樹 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所副所長 ()

組織・職員

平成24年度



職 員

館 長	梶 本 日出夫	事業係長	三 好 唯 義
副館長兼事務局長	井 戸 充 茂	係 長	小野田 一 幸
副 館 長	増 野 俊 則	係 長	塚 原 晃
展示企画担当部長	岡 泰 正	指導主事	山 西 潤
		〃	武 野 哲 夫
管理課		学芸員	國木田 明 子
管理課長	諫 山 一 彦	〃	橋 詰 清 孝
管理係長	谷 田 徳 七	〃	石 島 三 和
事務職員	永 井 豊 久	〃	石 沢 俊
〃	山 内 美 子	学芸係長	問 屋 真 一
学芸課		学芸員	田 井 玲 子
学芸課長	菅 本 宏 明	〃	勝 盛 典 子
		〃	廣 田 生 馬
		〃	川 野 憲 一

[平成25年 3月31日現在]

職員の異動

24. 4. 1	河 村 壮 範 (学芸課) 転出	24. 4. 1	武野哲夫 (学芸課) 湊翔楠中学校より転入
24. 4. 23	金 井 紀 子 (学芸課) 転出	24. 4. 23	廣田生馬 (学芸課) 小磯記念美術館より転入
24. 4. 23	高 久 智 広 (学芸課) 転出	24. 4. 23	石島三和 (学芸課) 文化財課より転入
25. 3. 31	谷 田 徳 七 (管理課) 退職		
25. 3. 31	永 井 豊 久 (管理課) 退職		

神戸市立博物館年報 No.29

－平成24年度－

発行年月日	平成26年3月31日
編集・発行	神戸市立博物館
〒650-0034	神戸市中央区京町24番地
TEL	(078)391-0035
PDF制作	有限会社 岸本出版印刷
〒652-0806	神戸市兵庫区西柳原町3番29号